第４章
便利な機能

ページ

通話内容や伝言メモを録音する（親機）
- 通話内容を録音する ………… 4-2
- 伝言メモを録音する ………… 4-2

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）………… 4-3

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）
- 読上げボイス設定を解除／設定する ………… 4-4

モーニングコールを利用する（子機）
- モーニングコールを設定する ………… 4-5
- モーニングコールを解除する ………… 4-6

親機をもっと便利に使う
- メモリー受信を設定する ………… 4-7
- 終了音を設定する ………… 4-7
- キータッチ音を設定する ………… 4-8
- ディスプレイの濃度を調整する ………… 4-8

子機をもっと便利に使う
- 使用者を登録する ………… 4-9
- 登録を初期化する ………… 4-9
- クイック通話を設定する ………… 4-9
- キータッチ音を設定する ………… 4-10
- 待ち受け時間を選ぶ ………… 4-10
- LCD コントラストの調整 ………… 4-10

子機を増設する（増設子機）………… 4-11

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）………… 4-12

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送）………… 4-13

プッシュホンのサービスを利用する
- 親機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）………… 4-14
- 子機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）………… 4-14

キャッチホンを利用する
- 親機でキャッチホンを利用する ………… 4-15
- 子機でキャッチホンを利用する ………… 4-15

ページ

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）
- 暗証番号を登録する ………… 4-16
- 外出先からリモート操作する ………… 4-17

ドアホンを接続する
- ドアホンをつなぐとき ………… 4-19
- カメラ付ドアホンをつなぐとき ………… 4-20

ドアホンと話す（ドアホン通話）
- 親機で話すときは ………… 4-21
- 子機で話すときは ………… 4-21
- 親機でドアホン通話中に電話がかかってくると ………… 4-22
- 親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると ………… 4-22
- 親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると ………… 4-22
- 親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると ………… 4-22
- 子機でドアホン通話中に電話がかかってくると ………… 4-23
- 子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると ………… 4-23
- 子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると ………… 4-23
- 子機で親機と内線通話中にドアホンから呼び出しがあると ………… 4-23
- 子機どうしでトランシーバー方式内線通話中にドアホンから呼び出しがあると ………… 4-24

ホームセンサー機能を利用する
- 見張りモードを設定する ………… 4-25
- 見張りモード設定時の動作内容について …… 4-26
- 見張りモードを設定しているときにセンサーが検知すると ………… 4-28
- 見張りモードを設定していないときにセンサーが検知すると ………… 4-33
- お知らせ番号を登録する ………… 4-34

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。１件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

通話内容を録音する

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 通話中に

録音

◯ を押す

通話録音中

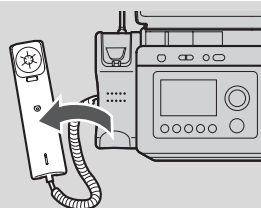
●内線通話中は、通話録音できません。

2 録音をやめるときは 停止◎ を押す

●録音が終わったら、時刻と件数が自動的に録音されます。（タイムスタンプ機能）
また、留守設定時に録音すると、ディスプレイが点滅し、留守設定解除時はディスプレイに「未再生録音があります」と表示されます。

伝言メモを録音する

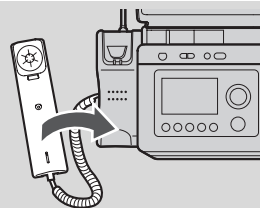
操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 受話器を取る

2 録音

◯ を押し、受話器で伝言を話す

3 話し終わったら

停止

◎ を押してから、受話器を置く

●録音が終わったら、時刻と件数が自動的に録音されます。（タイムスタンプ機能）
また、留守設定時に録音すると、ディスプレイが点滅し、留守設定解除時はディスプレイに「未再生録音があります」と表示されます。

■ **録音内容を再生するときは**
（☞2-52～2-53ページ）

■ **録音内容を消去するときは（☞2-54ページ）**

■ **伝言メモを録音中に電話がかかってきたときは**

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

お知らせ

● 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
● ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。

再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する（子機）

子機では再ダイヤルに記憶した電話番号を電話帳に登録することができます。
再ダイヤルは直前にかけたものから新しい順に、最大10件までの電話番号を記憶しています。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1

を押す

〈再ダイヤル01〉
0312345678
19:45

●最後にかけた相手の方を表示します。

2 で登録する電話番号を選んだあと、（機能）を押す

▶電話帳へ登録
消去
◀戻る　選択▶

3 を押し、名前を入れる（最大全角10文字、半角20文字）

名前　　[漢]
青木 次郎
[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは機能ボタンを押して手順6へ進みます。

4 （機能）を押す

読み　半 [カナ]
アオキ ジロウ
[機能] 決定

5 「読み」が正しければ
（機能）を押す

青木 次郎
0312345678
[機能] 決定

●「読み」に変更があれば修正します。
●「読み」の入力は半角文字で最大20文字まで入力できます。

6 登録する番号が正しければ
（機能）を押す

青木 次郎
第2番号?
[機能] 決定

●登録する番号に変更があれば修正します。
●再ダイヤルに記憶されていた電話番号を第1番号として登録します。

7 電話番号を（第2番号）を入れる（最大24ケタ）

青木 次郎
09012345678
[機能] 決定

●第2番号を省略するときは手順8へ進みます。

8 （機能）を押す

青木 次郎
登録しました
残り：92

●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。

■ **文字を入力するときは**
（☞2-38～2-41ページ）

お知らせ

● 親機では、再ダイヤルの記憶を電話帳に登録することはできません。

読上げボイスダイヤル機能を利用する（親機）

読上げボイス設定を解除／設定する

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせすることができます。
工場出荷時は読上げボイスダイヤルが設定されていません。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 **を押し、** **で「音関連設定」を選ぶ**

```
 1:初期設定
▶2:音関連設定
 3:コピー設定
```

2 **を押し、（カーソル）で「読上げボイス設定」を選ぶ**

```
 2:親機着信音
 3:応答メッセージ
▶4:読上げボイス設定
```

3 （決定）**を押し、「あり」を選ぶ**

```
▶1:あり
 2:なし
```

- 「あり」：読上げボイスダイヤル機能を使用します。
- 「なし」：読上げボイスダイヤル機能を使用しません。

4 （決定）**を押す**

5 （停止）**を押す**

■ 読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは

「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。（☞1-29ページ）
（読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。）

■ 読上げボイスダイヤル機能でのボタンの読み方

ボタン	読み方	ボタン	読み方
1 あ	「イチ」	8 や	「ハチ」
2 か	「ニ」	9 ら	「キュウ」
3 さ	「サン」	0 わ	「ゼロ」
4 た	「ヨン」	トーン ＊	「スター」
5 な	「ゴ」	#	「シャープ」
6 は	「ロク」	再ダイヤル	「ポーズ」
7 ま	「ナナ」		

お知らせ

- 読上げボイスの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。
- ダイヤルを始めてから、読上げボイスダイヤル機能を設定／解除することはできません。

モーニングコールを利用する（子機）

モーニングコールを設定する

子機で、モーニングコールを設定することができます。「ピッ・ピッ…」とアラーム音が鳴って、お知らせします。（設定時刻に一度鳴ったあと、解除されます。）

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**（上下）**で「アラーム」を選ぶ**

再ﾀﾞｲﾔﾙ消去
電話帳転送
▶ｱﾗｰﾑ
◀終了　選択▶

2 （右）**を押し、「アラーム時刻」を選ぶ**

▶ｱﾗｰﾑ時刻
ｱﾗｰﾑ設定
ｱﾗｰﾑ音色
◀戻る　選択▶

3 （右）**を押す**

4 アラーム時刻をダイヤルボタンで入力する（24時間制で4ケタ入力します）

ｱﾗｰﾑ時刻
07:00
[機能] 決定

●すでに設定している時刻を変更するときは、（左右）で変更する時刻にカーソルを移動し、新しい時刻を入力します。

5 （機能）**を押す**

ｱﾗｰﾑ　07:00
設定しました

●モーニングコールが設定され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **毎日モーニングコールをご利用になるときは**

モーニングコールの設定は、アラーム音で一度お知らせしたあと自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときは毎日設定してください。

■ **アラーム音を変更するときは**

アラーム音は「通常アラーム」（初期設定）と「メロディ」のどちらかに設定できます。変更するときは、以下の操作で変更します。

① （機能）を押し、（上下）で「アラーム」を選ぶ

② （右）を押し、（上下）で「アラーム音色」を選ぶ

③ （右）を押し、（上下）で「通常アラーム」「メロディ」のどちらかを選ぶ

④ （機能）を押す

お知らせ

- 子機の時計を設定していないときは、モーニングコールの設定はできません。（☞1-31ページ）
- 子機の時刻が正しく合っていないと、モーニングコール設定を行っても正しい時刻にアラーム音は鳴りません。子機の時刻を合わせてから（☞1-31ページ）、モーニングコールを設定してください。
- モーニングコールを設定したあとに、子機の時刻合わせを行っても、モーニングコールは解除されません。
- アラーム音は、子機で設定した呼び出し音量と同じ大きさで鳴ります。「切」に設定しているときは「小」の大きさで鳴ります。
- アラームが動作中に子機を充電器から取るなど何かの操作を行うとアラームは停止し子機を使用することができます。また、電話やファクスの着信があった場合もアラームは停止します。

モーニングコールを解除する

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**（上下）**で「アラーム」を選ぶ**

再ﾀﾞｲﾔﾙ消去
電話帳転送
▶ｱﾗｰﾑ
◀終了　選択▶

2 （右）**を押し、**（上下）**で「アラーム設定」を選ぶ**

ｱﾗｰﾑ時刻
▶ｱﾗｰﾑ設定
ｱﾗｰﾑ音色
◀戻る　選択▶

3 （右）**を押し、**（上下）**で「解除」を選ぶ**

▶解除
設定
[機能] 決定

4 （機能）**を押す**

ｱﾗｰﾑ　07：00
解除しました

●モーニングコールが解除され、待受画面に戻ります。

親機をもっと便利に使う

親機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

メモリー受信を設定する

はたらき

いったんメモリーで受信します。記録紙やインクリボンがなくなったときは、受信した内容はメモリーに記録しています。

- **する** メモリーで受信します。
- **しない** 直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは、ファクス受信できません。
- **自動** メモリー受信中にメモリーがいっぱいになると、次に受信するときに、メモリー受信せずに直接記録紙にプリントします。

手順

親機で設定します

登録 → 「**詳細設定**」を選ぶ → 決定 → 「**FAX ／コピー**」を選ぶ → 決定 →

→ 「**メモリー受信**」を選ぶ → 決定 → 1：する 2：しない 3：自動 から選ぶ → 決定 → 停止

終了音を設定する

はたらき

コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音を設定します。

- **音声** 「音声」でお知らせします。お買いあげ時はこちらの設定になっています。（ただし、コピー時の終了音は「鳥の声」になります。）
- **鳥の声** 「鳥の声」でお知らせします。
- **アラーム音** 「ピー」でお知らせします。
- **なし** 終了音を鳴らしません。

手順

親機で設定します

登録 → 「**詳細設定**」を選ぶ → 決定 → 「**FAX ／コピー**」を選ぶ → 決定 →

→ 「**終了音**」を選ぶ → 決定 → 1：音声 2：鳥の声 3：アラーム音 4：なし から選ぶ → 決定 → 停止

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

消去 を押します。

キータッチ音を設定する

はたらき	親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 **・あり**　親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 **・なし**　「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。
手順	親機で設定します 登録 → 「**詳細設定**」を選ぶ → 決定 → 「**キータッチ音**」を選ぶ → 1：あり 2：なし のどちらかを選ぶ → 停止

ディスプレイの濃度を調整する

はたらき	ディスプレイ表示の濃度を７段階に調整します。はじめは、中間（４段階目）の濃度設定になっています。
手順	親機で設定します 登録 → 「**詳細設定**」を選ぶ → → 「**液晶濃度調整**」を選ぶ で表示の濃度を調整する → 停止

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ １つ前に戻るときは

消去 を押します。

子機をもっと便利に使う

子機をもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。
各項目（ディスプレイ表示）を選ぶときはマルチファンクションキーの で選びます。
工場出荷時は に設定されています。

使用者を登録する

はたらき

子機の待受画面に、使う人の名前を表示することができます。また、子機を置く場所などを登録して利用することもできます。
登録した名前を変更するときは、もう一度登録し直します。

（例）
子機1
悟
1:40

手順

子機で設定します

機能 ➡ 「**システム設定**」を選ぶ ➡ ➡ 「**使用者表示**」を選ぶ ➡➡

➡➡ ➡ ダイヤルボタンで名前を入力する（全角6文字、半角12文字）
（☞2-38～2-41ページ）
使用者表示を消すときはクリアボタンを押して登録されているすべての文字を消します。

登録を初期化する

はたらき

子機の登録内容（電話帳の内容など）をすべて消して工場出荷時の状態に戻すことができます。

手順

子機で設定します

機能 ➡ 「**システム設定**」を選ぶ ➡ 「**登録初期化**」を選ぶ ➡➡

➡➡

初期化する？
[機能] 決定

➡ 機能

クイック通話を設定する

はたらき

子機を充電器から取り上げるだけで通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。

- **解除** 子機を充電器から取り上げたあと、通話ボタンを押してから通話します。
- **設定** 着信時に子機を充電器から取り上げるだけで、すぐに通話できます。

手順

子機で設定します

機能 ➡ 「**お好み設定**」を選ぶ   「**クイック通話**」を選ぶ   ➡➡

➡➡ 「**解除**」
「**設定**」
のどちらかを選ぶ

■ **途中でやめるときは**

を押します。

キータッチ音を設定する

はたらき

子機のボタンを押したときに、「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。

- **解除**　「ピッ」という音（キータッチトーン）は鳴りません。
- **設定**　子機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。

手順

子機で設定します

機能 ➡ 「**お好み設定**」を選ぶ ➡ ➡ 「**キータッチ音出力**」を選ぶ ➡ ➡

➡ 「**解除**」「**設定**」のどちらかを選ぶ ➡ 機能

待ち受け時間を選ぶ

はたらき

充電完了後に、子機を充電器に置いていない状態で、待ち受けられる時間を長くすることができます。

- **標準**　待ち受け時間は約200時間になります。
- **長時間**　待ち受け時間は約240時間になります。
（「長時間」にすると「標準」のときよりも子機の着信音が遅れて鳴ることがあります。）

待ち受け時間とは充電完了後に子機を充電器に置かずに一度も通話しない状態で待ち受けられる時間です。通話したり着信音が鳴ったりすると待ち受け時間は短くなります。

手順

子機で設定します

機能 ➡ 「**お好み設定**」を選ぶ ➡ ➡ 「**待ち受け時間**」を選ぶ ➡

➡ 「**標準**」「**長時間**」のどちらかを選ぶ

LCDコントラストの調整

はたらき

子機の液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

手順

子機で設定します

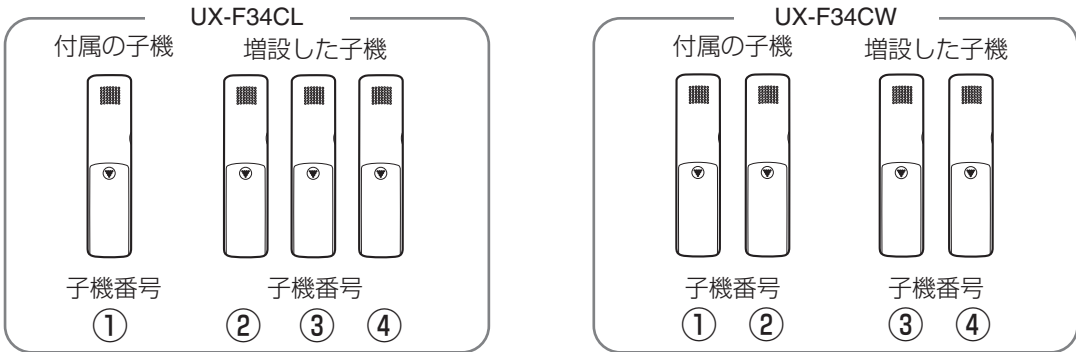
機能 ➡ 「**お好み設定**」を選ぶ ➡   「LCDコントラスト」を選ぶ

➡ でコントラストを調整する

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

子機を増設する（増設子機）

子機を増設すると子機を呼び出すときの子機番号は次のようになります

- 子機は、付属の子機以外に３台まで、UX-F34CWは２台まで増設することができます。
- 増設できる子機はCJ-KS80（２００４年７月発売予定）、CJ-KS50、CJ-KS4、CJ-KS7です。また、BS/CSチューナー用コードレス通信ユニット（CJ-KBS1）が増設できます。他の子機は増設できませんのでご注意ください。
- CJ-KS4、CJ-KS7を増設したときは、子機間通話はできません。
  CJ-KS80、CJ-KS50を増設すると、子機間通話（トランシーバー方式）ができます。
- 機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。
- 増設子機の登録方法は、別売の増設子機に付属している登録手順説明書をご覧ください。
  （CJ-KS80、CJ-KS50以外の増設子機では、増設登録手順タイプＡと記載されています。）
- 子機を増設したときは、操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

●UX-F34CL/UX-F34CWに増設した場合の機能比較（付属の子機は、CJ-KS80と同等です）

	機種名／機能名	付属の子機	CJ-KS80	CJ-KS50	CJ-KS4	CJ-KS7	この取扱説明書の参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	2-35
	漢字表示	○	○	×	×	○	―――
	電話帳転送（親機⇔子機）	○	○	○	○	○	2-45
	再ダイヤル	○（10件）	○（10件）	○（３件）	○（３件）	○（10件）	2-12
	ダイヤルボタン点灯	○	○	×	×	○	―――
	優先呼出	○	○	○	○	○	2-9
	モーニングコール	○	○	○	○	○	4-5
	子機間通話（トランシーバー方式）	○	○	○	×	×	2-16
	子機間ひと声通知	×	×	×	○	○	4-12
	受話音量切換	特大・大・標準	特大・大・標準	特大・標準	特大・標準	特大・標準	1-30
	スピーカーホン通話	○	○	○	○	○	2-7
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	○	5-2
	着信記録	○	○	○	○	○	5-13
	着信鳴り分け	○	○	○	○	○	5-22

子機から子機へメッセージを伝える（子機間ひと声通知）

CJ-KS4、CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機から子機へメッセージを伝えることができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）
なお、CJ-KS50、CJ-KS80を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話ができます。（☞2-16ページ）

操作のしかた

1 子機

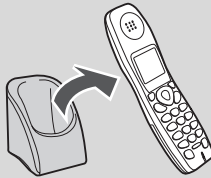
子機を充電器から取って
内線/クリア（保留）を押す

2 子機

呼び出したい子機の
内線番号を押す

●通話ボタンが点滅します。
●呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。通話ボタンが点滅します。

3 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
充電器から取る

●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

4 子機

呼び出した子機の方が
電話に出たら、
メッセージを伝える
（約10秒以内）

●呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが終わったら
切を押す

●この操作をしなくても約10秒後には自動的に電話は切れます。

■ **途中でやめるときは**

切を押します。

子機から子機へ電話を転送する（ひと声転送）

CJ-KS4、CJ-KS7を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話をひと声だけメッセージを伝えて他の子機へ転送することができます。（一方的にメッセージを伝えるだけです。お話しはできません。）なお、CJ-KS50、CJ-KS80を増設したときは、トランシーバー方式で子機間通話をしたあと、転送することができます。（☞2-22ページ）

操作のしかた

1 子機

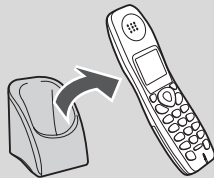
子機で外線通話中に
内線/クリア 保留 **を押す**

2 子機

呼び出したい子機の内線番号を押す

- 外線通話中の相手の方には保留メロディが流れます。
- 呼び出した子機が応答するまで「ププププ…」と鳴ります。
- 通話ボタンが点滅します。

3 呼び出された子機

着信音が鳴ったら、
充電器から取る

- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

■ 呼び出している子機が出ないときは

内線/クリア 保留 を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと 内線/クリア 保留 または 通話 を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

4 子機

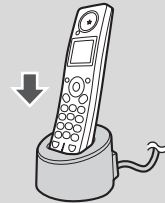
呼び出した子機の方が電話に出たら、メッセージを伝える（約10秒以内）

- 呼び出した子機の方とお話しはできず、声も聞こえません。

5 呼び出された子機

メッセージが聞こえる

6 子機

メッセージが
終わったら
子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- この操作をしなくても約10秒後には自動的に転送されます。

7 呼び出された子機

通話 **を押す**
または
内線/クリア 保留 **を押す**

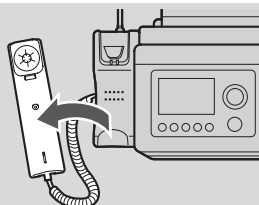
- 外線の相手の方と通話できます。

プッシュホンのサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも相手を呼び出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御　等）を利用することができます。

親機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 受話器を取る

2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン（＊）を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

子機でプッシュホンのサービスを利用する（ダイヤル回線ご利用時）

操作のしかた

1 （通話）を押す

- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。

2 各種サービスにダイヤルする

3 トーン（＊）を押す

- このあと、アナウンスにしたがって操作します。
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ **トーン信号とは**

プッシュホン回線（トーン）で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約の方でも、トーン（＊）（親機の場合）またはトーン（＊）（子機の場合）を押すと、このトーン信号を出すことができます。（子機では「ピッ、ポッ、パッ」の音は聞こえません。）

お知らせ

- サービスの種類によっては、トーンボタンを使っても受けられないものがありますので、詳しくは各サービスの提供先に確かめてください。
- 子機でトーンボタンを使ってサービスを受ける場合、トーン信号をうまく受け付けないサービスもあります。このときは、親機を利用してください。（読上げボイスダイヤルの設定は「なし」にしてください。）

キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。
キャッチホンを利用するにはNTTとの契約（有料）が必要です。

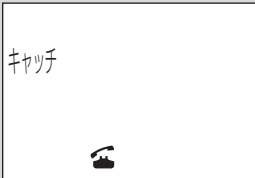
親機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に着信音が聞こえたら

キャッチ/文字切替 **を押す**

キャッチ

●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。（非通知、表示圏外、受信エラー、公衆電話なども表示します。）

2 もとの通話に戻るときはもう一度

キャッチ/文字切替 **を押す**

子機でキャッチホンを利用する

操作のしかた

1 通話中に着信音が聞こえたら

文字切替/キャッチ **を押す**

0312345678

●キャッチホン・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や名前が表示されます。

2 もとの通話に戻るときはもう一度

文字切替/キャッチ **を押す**

■ **キャッチホン・ディスプレイを契約するときは（☞5-8ページ）**

■ **キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは（☞7-9ページ）**
キャッチホンの切替時間を変えることができます。

お知らせ

● キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
● ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
● 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、スタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
● 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
● キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。なお、詳しくはNTTにお問い合わせください。
● キャッチホン・ディスプレイを契約すると、着信音が鳴ると同時にディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。（☞5-8～5-11ページ）

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

暗証番号を登録する

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押し、 で「詳細設定」を選ぶ

3：コピー設定
4：電話帳
▶5：詳細設定

2 決定 を押し、 で「暗証番号」を選ぶ

3：ナンバーディスプレイ
4：キータッチ音
▶5：暗証番号

3 決定 を押し、「登録」を選ぶ

▶1：登録
2：消去

4 決定 を押す

NO.　：　　（4桁）
暗証番号セット下さい

5 暗証番号を入れる（4ケタ）

NO.　：XXXX（4桁）
[決定] で決定

●ほかの方に内容が分からないように、入力した数字は「X」と表示されます。

6 決定 を押す

登録しました

7 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

■ **登録した暗証番号を消すときは**

① 操作のしかた の手順3で「消去」を選ぶ

② 決定 を押す

③ 決定 を押す

④ 停止 を押す

■ **暗証番号を変えるときは**

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

外出先からリモート操作する

操作のしかた

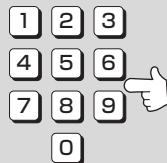
1 自宅に電話をかける

●ダイヤル回線の電話機からリモート操作するときは、ダイヤルしたあとにトーン信号に切り替えます。（トーン信号の切り替えかたは、電話機の取扱説明書をご覧ください。）

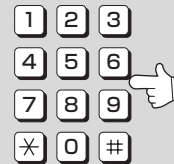
2 応答メッセージが聞こえている間に # を押す

● # を押すと流れている応答メッセージが止まります。このあと「暗証番号とシャープを押してください。」と聞こえます。聞こえないときは、もう一度 # を押してください。

3 暗証番号（4ケタ）を押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

4 # を押す

5 音声メッセージを聞いたあと **リモート操作番号を押す**

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

（例） 録音内容を聞くときは、
1 # と押します。

6 リモート操作が終わったら **電話を切る**

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

■ リモート操作表

操作内容	リモート操作番号
録音内容を聞くには	1 #
早聞きや遅聞きをするには	再生中に 1 #（早聞き）→ 1 #（遅聞き）→ 1 #（元に戻る）
今聞いている録音内容を聞き直すには	再生中に 3 #
今聞いている録音内容の１件前を聞くには	再生中に 3 # 3 #
次の録音内容を聞くには	再生中に 4 #
止めるには	再生中に 5 #
再生済みの録音内容を消すには	停止中に 0 1 #
録音内容をすべて消すには（未再生の録音も消えます）（応答メッセージは消えません）	停止中に 0 2 #
留守を設定／解除するには	停止中に 6 # ※設定するには、親機の「在宅時コール回数」を「回数選択」に設定しておく必要があります。（☞3-19ページ）
見張りモードを設定／解除するには（☞4-25ページ）	設定するとき：停止中に 3 1 # 解除するとき：停止中に 3 2 #

■ 暗証番号を押すときは

- ●10 秒以上あいだをあけると「ピピピピ」という音が聞こえます。手順３からやり直してください。
- ●番号をまちがえると、「ピピピピ」という音が聞こえます。正しく入れ直します。（２回まちがえると電話は切れます。）

■ 一般録音の内容を聞くときは

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します。

留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します。

●留守設定しているとき

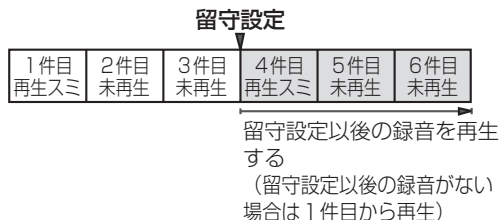
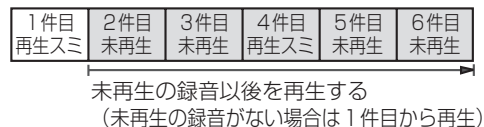
留守設定

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

留守設定以後の録音を再生する
（留守設定以後の録音がない場合は１件目から再生）

●留守設定していないとき

1件目 再生スミ	2件目 未再生	3件目 未再生	4件目 再生スミ	5件目 未再生	6件目 未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は１件目から再生）

■ トールセーバーとは

外から電話して、留守録の有無を確かめることができる機能です。トールセーバーに設定すると新しい録音があるときは、着信音が２回（新しい録音がないときは５回）で留守応答します。（留守モード時のコール回数の設定で、トールセーバーにします。☞2-50ページ）

■ トールセーバー機能の使いかた

着信音が２回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。３回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません。

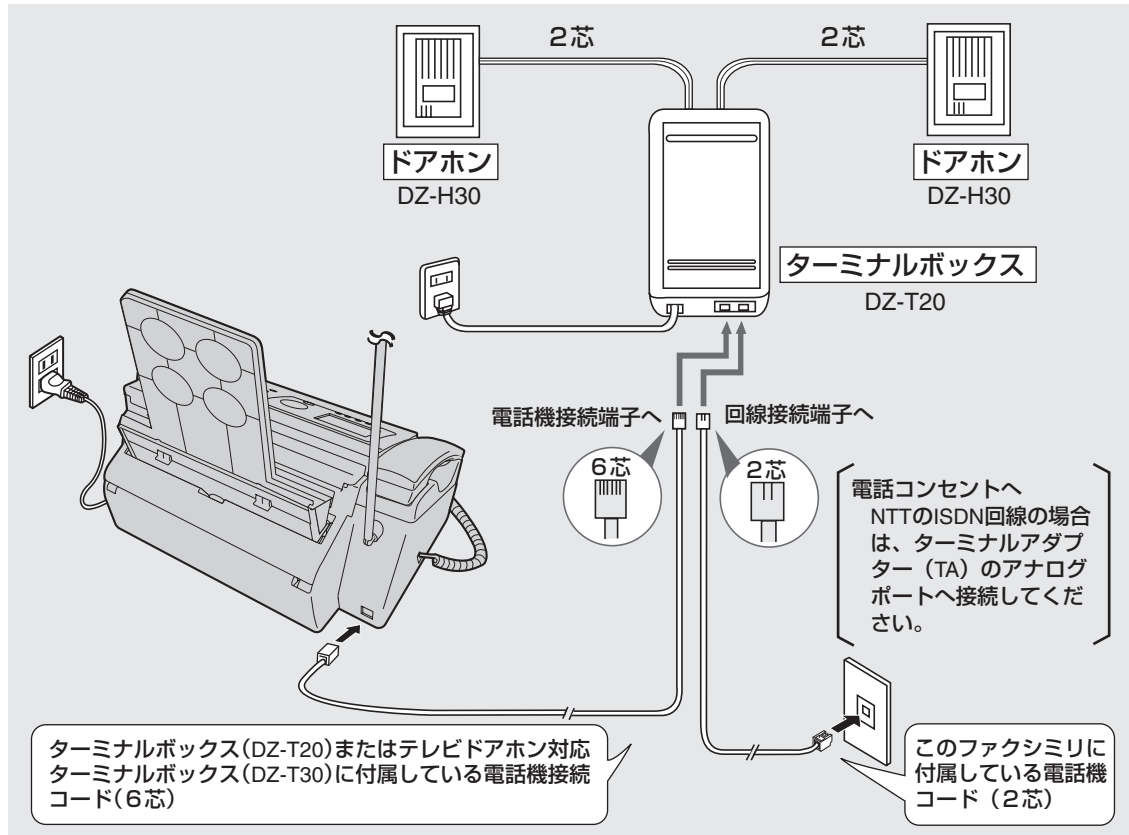
お知らせ

- ● 外出時には操作のしかたを記載した「リモート操作手順カード」をご利用ください。（巻末　viii～ixページ）
- ● 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- ● 操作は１分以内に行ってください。（１分以上あけると電話が切れます。）
- ● 親機が在宅モードで「在宅時コール回数」が「無制限呼出」のときはリモート操作できません。

ドアホンを接続する

別売りのターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大２台まで接続することができます。
詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンをつなぐとき

2芯
2芯
ドアホン
DZ-H30
ドアホン
DZ-H30
ターミナルボックス
DZ-T20
電話機接続端子へ
回線接続端子へ
6芯
2芯
電話コンセントへ
NTTのISDN回線の場合は、ターミナルアダプター（TA）のアナログポートへ接続してください。
ターミナルボックス(DZ-T20)またはテレビドアホン対応ターミナルボックス(DZ-T30)に付属している電話機接続コード(6芯)
このファクシミリに付属している電話機コード（2芯）

■ **NTTのISDN回線をご利用のときは（☞1-18ページ）**

■ **現在お使いのドアホンが次の機種のときは**

専用ドアホン（DZ-H30）をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。
（ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30は必要です。）

メーカー名（50音順）	適合するドアホン（室外機の機種名）2003年12月現在
アイホン	IF-DA　IE-DA　IE-DC　IE-NC　IE-RA　IE-TAS　IE-JA　IE-CA　IF-DAW　IE-NXS　IE-NXBA　IE-NXM　IE-NXY　IE-NXC
岩通	ドアホンN
ＮＴＴ	E-104DH　E-ドアホンS　E-ドアホンD　E-ドアホンPL　E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A　FC-201B　FC-201C　FC-201D
松下通信工業	VF-521　VF-522　VF-523U　VF-523D　VL-568　VL-568G　VL-568U　VL-568K　VL-568KA　VL-568D　VL-568R　VL-568S　VL-568KAP　VL-568GL　VL-568UL　VL-569　VL-580D　VL-582A　VL-584D　VL-585D　VL-586P　VL-587P　VL-592　VL-593　VL-594A
松下電工	EJ-502　EJ-501W　EJ-102　EJ-503F　EJ-503A　EJ-106A　EJ-106S　EJ-1021B

※チャイム（室外と室内とで会話できないもの）は適合しません

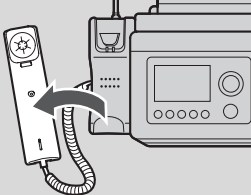
カメラ付ドアホンをつなぐとき

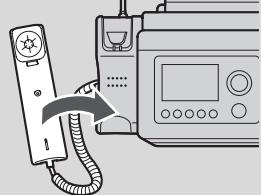
テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）をお使いください。

2芯
ドアホン
DZ-H30
テレビドアホン対応
ターミナルボックス
DZ-T30
3芯
テレビドアホンDZ-MH70
6芯
回線接続端子へ
テレビドアホン
モニター
電話機接続端子へ
2芯
アース線
2芯
カメラ付き
ドアホン
電話コンセントへ
NTTのISDN回線の場合は、ターミナルアダプター（TA）のアナログポートへ接続してください。
テレビドアホン対応ターミナルボックス（DZ-T30）に付属している電話機接続コード（6芯）
このファクシミリに付属している電話機コード（2芯）

■ **NTTのISDN回線をご利用のときは**
（☞1-18ページ）

お知らせ

- カラーカメラドアホン（DZ-TH10）は使用できません。
- カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。

ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話しすることができます。

親機で話すときは

操作のしかた

1 着信音が「ピンポン」と鳴ったらディスプレイに「ドアホン着信１」または、「ドアホン着信２」と表示している間（30秒以内）に

受話器を取って通話する

2 通話が終わったら

受話器を戻す

子機で話すときは

操作のしかた

1 着信音が「ピロピロピロピロ」と鳴ったら通話ボタンが点滅している間（30秒以内）に

［通話］ **を押す**

●通話ボタンが点灯します。

2 通話が終わったら

［切］ **を戻す**

■ **ドアホンの着信音について**

ドアホン１とドアホン２からの着信音は鳴り方が違います。

親機	ドアホン１	ピン　ポン
	ドアホン２	ピン　ポン　ピン　ポン
子機	ドアホン１	ピロピロピロピロ　ピロピロピロピロ
	ドアホン２	ピロピロ　ピロピロ　ピロピロ

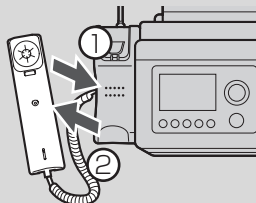
お知らせ

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません。この場合、子機で通話することもできません。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- 子機で優先呼出を設定していても、ドアホンの着信音は、親機・子機の両方で鳴ります。
- ドアホンの着信音が「ピンポン」と鳴ったあと約30秒以上ドアホンとの通話に出なかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- ドアホンの受話音量はターミナルボックス側で調整することができます。詳しくはターミナルボックスの取扱説明書をご覧ください。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

操作のしかた

1 電話の着信音が聞こえたら
一度受話器を戻してから、受話器を取る

●受話器を戻すと、ドアホン通話が切れます。（ドアホン通話には戻れません。）
●受話器を取ると、かかってきた電話との通話になります。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

操作のしかた

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に
内線/保留 ◎ **を押す**

●通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは
内線/保留 ◎ **を押す**

●電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

操作のしかた

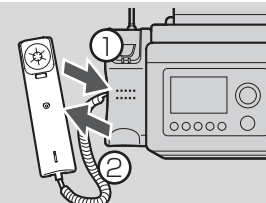
1 ドアホンの着信音が「ピンポン」と１回聞こえたときは
(1あ) **を押す**
ドアホンの着信音が「ピンポン」と2回聞こえたときは
(2か) **を押す**

●(1あ) または (2か) （またはキャッチボタン）を押すごとに、２台のドアホンと交互にお話ができます。

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

操作のしかた

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に
一度受話器を戻してから、受話器を取る

●受話器を戻すと、内線通話が切れます。
●受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

操作のしかた

1 電話の着信音が聞こえたら

（切）を押して、（通話）を押す

- 切ボタンを押すと、ドアホン通話が切れます。
- 通話ボタンを押すと、かかってきた電話との通話になります。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

操作のしかた

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に

内線/クリア（保留）を押す

- 通話中の相手の方には保留メロディーが流れ、ドアホンの相手とドアホン通話ができます。

2 電話の相手の方との通話に戻るときは

内線/クリア（保留）を2回押す

- 電話の相手の方との通話に戻ると、ドアホン通話は切れます。

子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

操作のしかた

1 ドアホンの着信音が「ピンポン」と

1回聞こえたときは

（1あ）を押す

ドアホンの着信音が「ピンポン」と

2回聞こえたときは

（2かABC）を押す

- （1あ）または（2かABC）（またはキャッチボタン）を押すごとに、2台のドアホンと交互にお話ができます。

子機で親機と内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

操作のしかた

1 ドアホンの着信音が聞こえたら30秒以内に

（切）を押して、

子機のドアホンの着信音が聞こえたら

（通話）を押す

- 受話器を戻すと、内線通話が切れます。
- 受話器を取ると、ドアホン通話になります。

子機どうしでトランシーバー方式内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

操作のしかた

●呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないとき

1 内線通話が切れる
ドアホンの着信音が聞こえたら
（通話）**を押す**

●どちらかがトランシーバーボタンを押してお話ししているとき

1 お話を聞いている方の受話口から着信音が聞こえる

2 相手がメッセージを伝え終えてトランシーバーボタンを離したら
（切）**を押す**

3 ドアホンの着信音が聞こえたら
（通話）**を押す**

ホームセンサー機能を利用する

見張りモードを設定する

別売の玄関用ホームセンサー DZ-HS1、窓用ホームセンサー DZ-HS2 を増設してお使いのときは、ホームセンサー機能を利用することができます。(別売品／消耗品　☞7-2ページ)
ホームセンサー機能とは、下記のセンサーを使用して、玄関のドアや扉、窓が開いたことをお知らせする機能です。
また、玄関用ホームセンサーDZ-HS1を増設すれば、玄関先での人の動きをお知らせすることもできます。

開閉センサー
玄関のドアや扉、窓の開閉を検知します。
赤外線センサー（DZ-HS1のご利用時のみ）
玄関先の来客などを検知します。
また、見張りモードに設定しておくと、センサーの反応時に、あらかじめ登録した電話番号へ自動的に発信してお知らせすることもできます。
(☞4-34ページ)
DZ-HS1、DZ-HS2の取り付けかた等についての詳細は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

> DZ-HS1に搭載している赤外線センサーは、人の動きなどの温度変化を検出する方式のため、気温と体温との差が小さい場合や静止している場合などは、本来ならセンサーが検知できる範囲内に人がいる場合であっても検知できないことがあります。

操作のしかた　操作をする前にホームセンサーの電源を入れておきます。

1 **を押す**

〈見張り〉に
設定しました

- 「ピー」と鳴り、迷惑電話／見張りボタンが点灯して、見張りモードが設定されます。
- ホームセンサーを増設していないときは反応しません。

■ **見張りモードを解除するときは**
 を押します。（ が消灯します。）

■ **見張りモードのタイプを選ぶときは**
各タイプの内容については、「見張りモード設定時の動作内容について」（☞4-26ページ）をご覧ください。

① 登録 を押す
② 迷惑電話/見張り を押す
③ 決定 を押し、 で「詳細設定」を選ぶ
④ 決定 を押す
⑤ 　で「タイプ1」「タイプ2」「タイプ3」のいずれかを選ぶ
⑥ 決定 を押す
⑦ ホームセンサーの電源を一度切り、もう一度入れ直す
⑧ 停止 を押す

> ホームセンサーは侵入、盗難などの被害やご家族の無断外出などを未然に防止するものではありません。万一、侵入、盗難などの被害やご家族の無断外出時の事故などが発生しても弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ
- DZ-HS1／DZ-HS2は、最大4台まで増設できます。
- 見張りモードを設定するときは、あらかじめホームセンサーを取り付けたドアや扉、窓が閉まっていることを確認してください。
- 外出先や携帯電話から、見張りモードの設定／解除ができます。（☞4-18ページ）

見張りモード設定時の動作内容について

ホームセンサー機能では、反応したセンサーや設定した動作タイプ、見張りモード設定の有無によって、動作が異なります。実際の動作については、4-28〜4-33ページをご覧ください。
見張りモードの動作は、以下の３タイプから選ぶことができます。（はじめは、タイプ１に設定されています。）

タイプ１：来客用のチャイムと、警戒用を兼ねたタイプです。
タイプ２：警戒用として使用するタイプです。
タイプ３：来客用のチャイムとして使用するタイプです。このタイプを設定するときは、お知らせ番号（☞4-34ページ）を登録しないでください。お知らせ番号を登録していると、登録された番号へ自動的に発信することがあります。

また、センサーの動作には以下の３種類があります。

赤外線２秒検知：来客などで、赤外線センサーの検知範囲内の温度変化を、約２秒間続けて検知すると反応します。
赤外線10秒検知：来客などで、赤外線センサーの検知範囲内の温度変化を、約10秒間続けて検知すると反応します。
ドア／窓開閉検知：ドアや窓が開いたときに反応します。

タイプ	タイプ１			タイプ２			タイプ３		
種別	赤外線2秒検知	赤外線10秒検知	ドア／窓	赤外線2秒検知	赤外線10秒検知	ドア／窓	赤外線2秒検知	赤外線10秒検知	ドア／窓
ホームセンサーの動作	**チャイム**（ピロピロ…）約3秒間	**アラーム**（ピリリリ…）約21秒間	**チャイム**（ピロピロ…）約3秒間のあとアラーム（ピリリリ…）約21秒間	動作なし	**アラーム**（ピリリリ…）約21秒間	**アラーム**（ピリリリ…）約21秒間	**チャイム**（ピロピロ…）約3秒間	**チャイム**（ピロピロ…）約3秒間	**チャイム**（ピロピロ…）約3秒間
本体側の動作	動作なし	**音声**「ドアの外を確認してください」**表示 ※**「ドア○の外を確認してください」約30秒間	**音声**「ドア（窓）を確認してください」**表示 ※**「ドア（窓）○を確認してください」約30秒間	動作なし	**音声**「ドアの外を確認してください」**表示 ※**「ドア○の外を確認してください」約30秒間	**音声**「ドア（窓）を確認してください」**表示 ※**「ドア（窓）○を確認してください」約30秒間	動作なし	動作なし	動作なし

※「ドア（窓）○を確認してください」などの表示の○部分には、「ドア１」「窓２」などのように、増設したホームセンサーに対応する数字が表示されます。

次ページへ

ホームセンサー機能を利用する

タイプ	タイプ1			タイプ2			タイプ3		
種別	赤外線 2秒検知	赤外線 10秒検知	ドア／窓	赤外線 2秒検知	赤外線 10秒検知	ドア／窓	赤外線 2秒検知	赤外線 10秒検知	ドア／窓
本体側の動作	動作なし	動作なし	**親機呼出音** お知らせ音 （初期設定 「アラーム2」） **子機呼出音** お知らせ音 （固定） **表示 ※** 「ドア（窓）○を確認してください」 約30秒間 呼出 **子機** **メッセージ** 「ドア（窓）を確認してください」	動作なし	動作なし	**親機呼出音** お知らせ音 （初期設定 「アラーム2」） 子機呼出音 お知らせ音 （固定） **表示 ※** 「ドア（窓）○を確認してください」 約30秒間 呼出 **子機** **メッセージ** 「ドア（窓）を確認してください」	動作なし	**親機呼出音** お知らせ音 （初期設定 「アラーム2」） **子機呼出音** お知らせ音 （固定） **表示 ※** 「ドア○の外を確認してください」 約30秒間 呼出 **子機** **メッセージ** 「ドアの外を確認してください」	**親機呼出音** お知らせ音 （初期設定 「アラーム2」） **子機呼出音** お知らせ音 （固定） **表示 ※** 「ドア（窓）○を確認してください」 約30秒間 呼出 **子機** **メッセージ** 「ドア（窓）を確認してください」

※「ドア（窓）○を確認してください」などの表示の○部分には、「ドア１」「窓２」などのように、増設したホームセンサーに対応する数字が表示されます。

お知らせ番号（☞4-34ページ）の登録をしていると、登録した番号へ自動的に発信し、下記のメッセージでお知らせします。お知らせの内容については、4-31ページをご覧ください。

本体側の動作	動作なし	動作なし	**メッセージ** 「ドア（窓）を確認してください。#を押すとメッセージが止まります」 約35秒間 呼出	動作なし	動作なし	**メッセージ** 「ドア（窓）を確認してください。#を押すとメッセージが止まります」 約35秒間 呼出	動作なし	動作なし	**メッセージ** 「ドア（窓）を確認してください。#を押すとメッセージが止まります」 約35秒間 呼出

■ 見張りモードに設定していないときは（☞4-33ページ）

■ ホームセンサーの音を止めるときは

ホームセンサー本体の解除スイッチを引きます。本体側の動作は止まりません。
また、スイッチを引いたあと、約１分間ホームセンサーは無反応状態となります。この間は開閉センサー、赤外線センサーともに反応しません。

■ 本体側の動作を止めるときは

（迷惑電話/見張り）を押して見張りモードを解除します。

■ 本体側の音を一時的に止めるときは

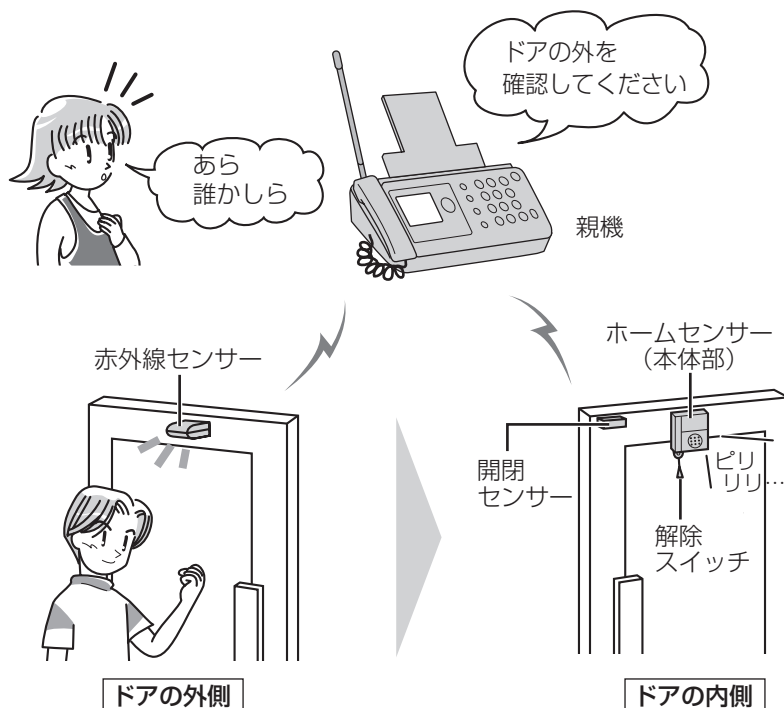
（停止）を押します。次の動作に移行すると、再び音が鳴り始めます。

■ 見張りモードに設定したあと外出するときは

ホームセンサーを設置したドアや扉を開けて外出するときや、窓を開けるときは、センサー本体の解除スイッチを引いてから、ドアや窓を開けてください。解除スイッチを引かずにドアや窓を開けると、お知らせの動作が始まります。

見張りモードを設定しているときにセンサーが検知すると

赤外線センサーが検知すると

（例）タイプ1の場合

赤外線センサー（2秒検知）が働いたとき

親機

待機状態から変わりません

ホームセンサー

赤外線センサー側のランプが点滅し（赤色）、本体からチャイム音が鳴ります

● ホームセンサーの動作を止めるときは、解除スイッチを引っ張ります。約1分間の無反応状態の後に待機状態に戻ります。

センサーの反応中はランプが点滅し続けます。
センサーに反応がなくなると待機状態に戻ります。

赤外線センサー（10秒検知）が働いたとき

親機

ﾎｰﾑｾﾝｻｰ通信中

ホームセンサー

赤外線センサー側のランプが点滅します（赤色）

● センサーの検知時間が10秒に満たない場合、親機に通知せずに待機状態に戻ります。

警戒モードに入ります

ﾄﾞｱ1の外を
確認してください

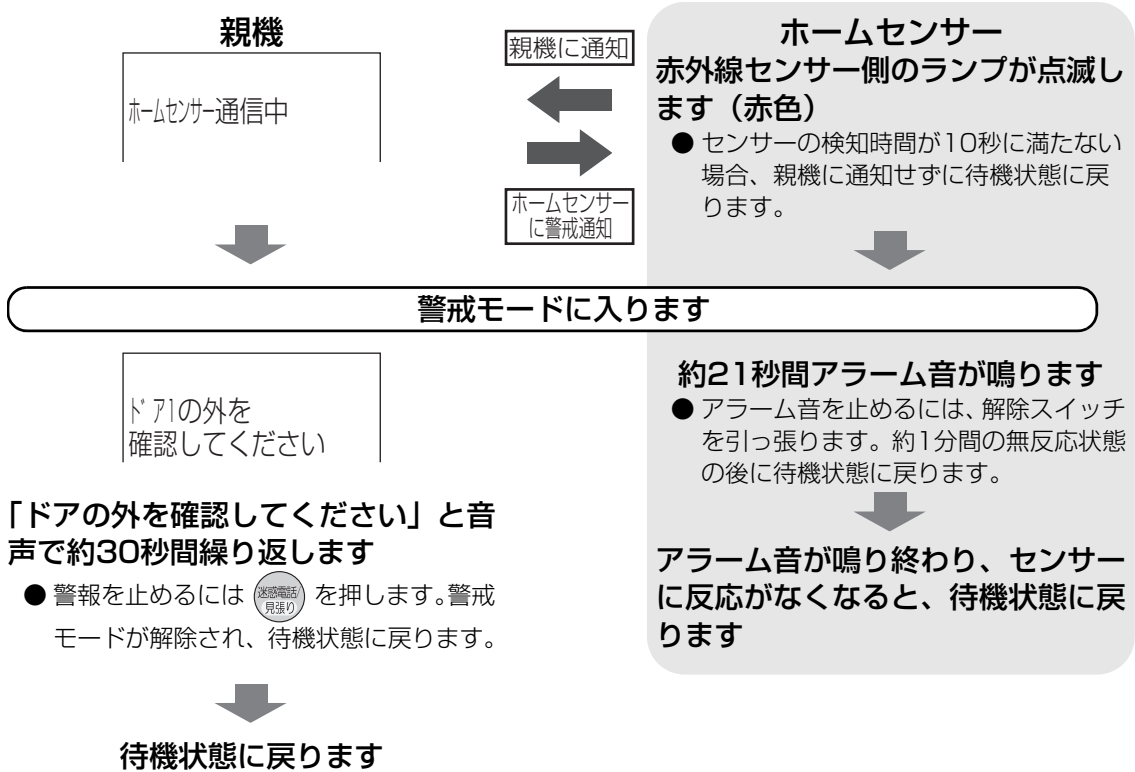
「ドアの外を確認してください」と音声で約30秒間繰り返します

● 警報を止めるには を押します。警戒モードが解除され、待機状態に戻ります。

待機状態に戻ります

約21秒間アラーム音が鳴ります

● アラーム音を止めるには、解除スイッチを引っ張ります。約1分間の無反応状態の後に待機状態に戻ります。

アラーム音が鳴り終わり、センサーに反応がなくなると、待機状態に戻ります

お知らせ

● 赤外線センサーの検知中に開閉センサーが検知すると、開閉センサーのお知らせ動作が優先されます。
● ホームセンサーのチャイム音とアラーム音の音量は、ホームセンサー側で調整することができます。詳しくは、ホームセンサーの取扱説明書をご覧ください。
● 警戒モード時の音声の音量は、親機ではスピーカー音量、子機では受話音量、スピーカー音量と連動しています。
● ホームセンサーのお知らせ動作中に外線やドアホンからの着信があったり、受話器を上げたりした場合は、動作は一時中止され、通話終了後、動作が再開されます。
● 下記の状態で赤外線センサーが検知したときは、親機がセンサーからの通知に応答できないため、警戒モードに入りません。
　・外線またはドアホンから着信しているとき（チャイムを鳴らしてお知らせします。）
　・子機で外線またはドアホンと通話しているとき（チャイムを鳴らしてお知らせします。）
　また、外線へ発信しているときにセンサーが検知したときは、親機のみ警戒モードに入ります。
● 子機を使用しているときは、親機がセンサーからの通知に応答することができないため、警戒モードに入りません。
● 電波状態などによっては、センサーから親機へ正しく通知できないことがあります。

開閉センサーが検知すると

（例）タイプ1の場合

親機

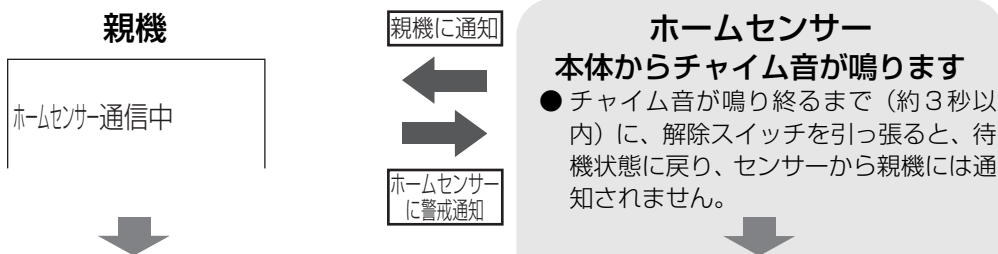
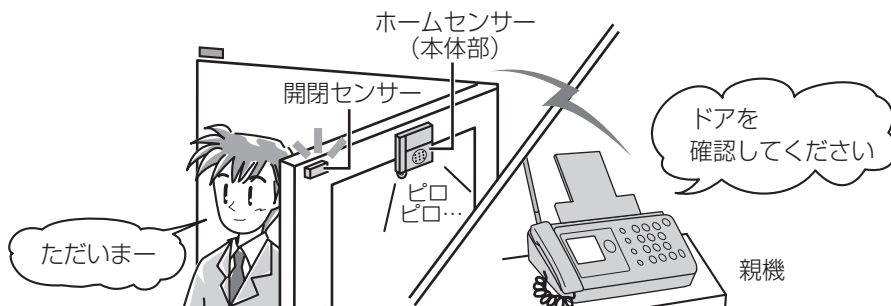
ホームセンサー通信中

親機に通知

ホームセンサーに警戒通知

ホームセンサー

本体からチャイム音が鳴ります

- チャイム音が鳴り終るまで（約３秒以内）に、解除スイッチを引っ張ると、待機状態に戻り、センサーから親機には通知されません。

警戒モードに入ります

玄関用ホームセンサー DZ-HS1	窓用ホームセンサー DZ-HS2
ドア1を 確認してください	窓1を 確認してください

「ドアを確認してください」と音声で約30秒間繰り返します

- 警報を止めるには を押します。警戒モードが解除され、待機状態に戻ります。
- 窓用ホームセンサー DZ-HS2の場合は、「窓を確認してください」と繰り返します。

次ページにつづく

約21秒間アラーム音が鳴ります

- アラーム音を止めるには、解除スイッチを引っ張ります。約1分間の無反応状態の後に待機状態に戻ります。

アラーム音が鳴り終わると待機状態に戻ります

お知らせ

- 開閉センサーの検知後にドアや窓を閉めると、そのあと約5秒間は、開閉センサー、赤外線センサーともに検知しません。
- ドアや窓が開いている状態、または開閉センサーの検知中は、赤外線センサーは検知しません。
- 窓用ホームセンサー DZ-HS2 を２台増設してお使いのときは、一方の開閉センサーが検知していると、もう一方の開閉センサーは動作しません。

親機
**子機一斉呼出機能が作動し、
お知らせ音が約30秒間鳴り続けます**

- お知らせ音を止めるには（迷惑電話/見張り）を押します。警戒モードが解除され、待機状態に戻ります。
- お知らせ音は親機で設定した着信音量と同じ大きさで鳴ります。

子機
一斉呼出

子機
すべての子機が親機と通話中でないときのみ、子機の呼出音が約30秒間鳴ります

- （通話）を押すと「ドアを確認してください」とメッセージが約10秒間流れます。警戒モードが解除され、待機状態に戻ります。
- 呼出音は、子機で設定した着信音量と同じ大きさで鳴ります。「切」に設定しているときは「小」の大きさで鳴ります。

- 窓用ホームセンサーDZ-HS2の場合は、「窓を確認してください」と繰り返します。

お知らせ番号へ発信を開始します

お知らせ番号へ自動発信させるには、前もってお知らせ番号を登録しておく必要があります。（☞4-34 ページ）お知らせ番号を１件も登録していないときは、警戒モードが解除され、待機状態に戻ります。

発信中

- 発信を解除するときは、（迷惑電話/見張り）を押します。警戒モードが解除され、待機状態に戻ります。
- 発信先で♯（シャープ）を押すまで、お知らせ番号を「No.1」、「No.2」、「No.3」の順に発信し、３回まで繰り返します。（登録していないお知らせ番号は、とばします。）
- お知らせ番号１件につき、約 35 秒間呼び出します。１回目の発信が終わったあと、約３分間待機して、２回目の発信を開始します。（３回目も同様に、約３分間待機してから発信します。）

お知らせ番号発信先
親機からの電話に出ると、「ドアを確認してください。♯（シャープ）を押すと、メッセージがとまります。」と約30秒間流れます

- ♯（シャープ）を押すとメッセージがとまり、警戒モードが解除されます。暗証番号を登録しておくと、外線リモートの操作に移ります。（☞4-17 ページ）
- 窓用ホームセンサーDZ-HS2の場合は、「窓を確認してください。♯（シャープ）を押すと、メッセージがとまります。」と約30秒間流れます。

待機状態に戻ります

■ **お知らせ音を変更するときは**

① 登録 を押す

② 迷惑電話/見張り を押す

③ 決定 を押し、「お知らせ音」を選ぶ

④ 決定 を押し、 でお知らせ音を選ぶ
はじめは（工場出荷時）「アラーム 2」に設定されています。お知らせ音の種類については、「親機着信音一覧」（☞1-26ページ）をご覧ください。

⑤ 決定 を押す

⑥ 停止 を押す

お知らせ

- ホームセンサーのチャイム音とアラーム音の音量は、ホームセンサー側で調整することができます。詳しくは、ホームセンサーの取扱説明書をご覧ください。
また、ドアの厚み・材質や気密度合いによって、ドアの外から聞いた音は小さくなることがあります。
- 警戒モード時の音声の音量は、親機（または子機）のスピーカー音量と連動しています。
- ホームセンサーのお知らせ動作中に外線やドアホンからの着信があったり、受話器を上げたりした場合は、動作は一時中止され、通話終了後、動作が再開されます。
- 下記の状態で開閉センサーが検知したときは、親機がセンサーからの通知に応答できないため、警戒モードに入りません。
  - ・外線またはドアホンから着信しているとき（チャイムを鳴らしてお知らせします。）
  - ・子機で外線またはドアホンと通話しているとき（チャイムを鳴らしてお知らせします。）

  また、外線へ発信しているときにセンサーが検知したときは、親機のみ警戒モードに入ります。
- 子機を使用しているときは、親機がセンサーからの通知に応答することができないため、警戒モードに入りません。

見張りモードを設定していないときにセンサーが検知すると

以下のように動作します。(タイプ2に設定したときは、チャイム音は鳴りません。)

赤外線センサーが検知すると

2秒検知が働いたとき

親機

待機状態から変わりません

ホームセンサー

赤外線センサー側のランプが点滅(赤色)し、本体からチャイム音が鳴ります

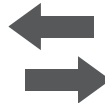
- チャイム音を止めるときは、解除スイッチを引っ張ります。約1分間の無反応状態の後に待機状態に戻ります。

センサーに反応がなくなると待機状態に戻ります。

10秒検知が働いたとき

親機

ホームセンサー通信中

待機状態に戻ります

親機に通知

ホームセンサーにチャイム動作通知

ホームセンサー

赤外線センサー側のランプが点滅します(赤色)

本体からチャイム音が鳴ります

- チャイム音を止めるときは、解除スイッチを引っ張ります。約1分間の無反応状態の後に待機状態に戻ります。

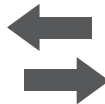
センサーに反応がなくなると待機状態に戻ります。

開閉センサーが検知すると

親機

ホームセンサー通信中

待機状態に戻ります

親機に通知

ホームセンサーに待機通知

ホームセンサー

本体からチャイム音が鳴ります

- チャイム音を止めるときは、解除スイッチを引っ張ります。1分間の無反応状態の後に待機状態に戻ります。(チャイム音が鳴り終わるまでに、解除スイッチを引っ張ると、センサーから親機には通知されません。

待機状態に戻ります

お知らせ番号を登録する

見張りモード設定時、玄関のドアや扉、窓が開いたことをお知らせする電話番号を最大32ケタ、3件登録することができます。

操作のしかた 受話器を置いたままで操作します。

1 登録 を押す

▶1:初期設定
2:音関連設定
3:ｺﾋﾟｰ設定

2 迷惑電話/見張り を押す

▶1:見張り設定

3 決定 を押し、で「お知らせ番号」を選ぶ

1:お知らせ音
▶2:お知らせ番号
3:詳細設定

4 決定 を押し、「登録」を選ぶ

▶1:登録
2:消去

5 決定 を押し、で「NO.1」「NO.2」「NO.3」のいずれかを選ぶ

▶1:NO.1
2:NO.2
3:NO.3

6 決定 を押す

NO.=
相手NO.ｾｯﾄください

7 お知らせ先の電話番号を入れる（最大32ケタ）

NO.=0312345678
最後に決定を押します

8 決定 を押す

●続けて登録するときは、「登録」を選んで手順5～8の操作をくり返します。

9 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **お知らせ番号の登録を１件ずつ消すときは**

① 手順1～3の操作をする
② 決定 を押し、で「消去」を選ぶ
③ 決定 を押し、で消去するお知らせ番号の登録を選ぶ
④ 決定 を２回押す
（続けて他のお知らせ番号の登録を消すときは、「消去」を選んで③～④をくり返す）
⑤ 停止 を押す

お知らせ

● お知らせ番号を登録したときは、見張りモードの動作タイプ（☞4-26ページ）をタイプ3に設定しないでください。

第5章
ナンバー・ディスプレイ

ページ

ナンバー・ディスプレイを利用する
電話がかかってくると…………………………… 5-2
ナンバー・ディスプレイを利用設定する……… 5-3
電話がかかってきたときの画面表示について… 5-5

ネーム・ディスプレイを利用する
電話がかかってくると…………………………… 5-6
電話がかかってきたときの画面表示について… 5-7

キャッチホン・ディスプレイを利用する
通話中に電話がかかってくると………………… 5-8
キャッチホン・ディスプレイを利用設定する… 5-9
通話中に電話がかかってきたときの画面表示について………………………………………… 5-11

着信記録を表示する
親機で着信記録を表示する…………………… 5-12
子機で着信記録を表示する…………………… 5-13

着信記録を使って電話をかける
親機で着信記録を使って電話をかける……… 5-14
子機で着信記録を使って電話をかける……… 5-15

ページ

着信記録を使ってファクスを送る
親機で着信記録を使ってファクスを送る…… 5-16
子機で着信記録を使ってファクスを送る…… 5-17

着信記録を電話帳に登録する
着信記録を親機の電話帳に登録する………… 5-18
着信記録を子機の電話帳に登録する………… 5-19

着信鳴り分けを利用する
親機の鳴り分けを設定する…………………… 5-20
親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ…………… 5-21
子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ… 5-22

着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す
お断りに設定すると…………………………… 5-23
非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する…………………………………………………… 5-24

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す
お断りしたい番号を登録する………………… 5-26

迷惑電話にお断りメッセージを流す
親機で設定する………………………………… 5-28
子機で設定する………………………………… 5-29

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、かかってきた相手の方の電話番号を表示するサービスです。

このサービスをご利用の際は、利用契約が必要ですので、詳しくはNTTの窓口へお問い合わせください。
サービスを契約したあとは、必ずナンバー・ディスプレイを「する」に設定してください。(☞5-3ページ)
ナンバー・ディスプレイの設定は、はじめは「する」に設定されています。

電話がかかってくると…

■相手の方の番号を表示します。

あら
電話がかかってきたわ
誰かしら

プルル…プルル…

データの受信開始	データの受信完了
外線使用中	0387654321
(((着信)))	0387654321 (((着信)))

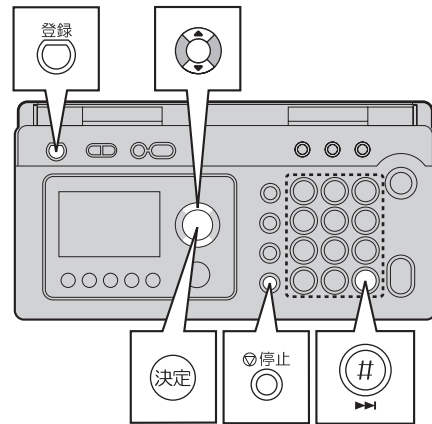
■親機や子機の電話帳に登録している相手の方から電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を表示します。子機では電話帳に登録している名前を表示します。

あら
サトシさんからの電話ね

プルル…プルル…

データの受信開始	データの受信完了
外線使用中	池田 悟 0312345678
(((着信)))	池田 悟 0312345678 (((着信)))

ナンバー・ディスプレイを利用設定する

初期設定では、ナンバー・ディスプレイを利用する設定になっています。設定を変更するときは、下記の手順で変更してください。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 **を押し、** # **を4回押す**

▶1:特別設定

2 決定 **を押し、** ◎ **で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ**

2:FAX/コピー
3:TA対応
▶4:ナンバーディスプレイ

3 決定 **を押し、「する」を選ぶ**

▶1:する
2:しない

- はじめは「する」になっています。
- **ナンバー・ディスプレイを利用しないとき**は、「しない」を選び、決定ボタンを押します。

4 決定 **を押す**

5 停止 **を押す**

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 1つ前に戻るときは

消去 を押します。

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイの利用設定を「する」に設定しても、すぐにディスプレイには ND マークは表示されません。
  設定後一度着信すると、ND マークが表示されます。
- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの設定を「しない」にしてください。
- ナンバー・ディスプレイをISDN回線でお使いのときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。

着信鳴り分けを設定したときは

電話がかかってきたときに、親機は、親機の電話帳に登録されている方に、子機は、着信の種類に合わせて着信音の鳴り方を変えてお知らせします。(☞5-20～5-22ページ)

非通知お断りを設定したときは

相手の方が番号非通知(「184をダイヤル」または、「通常非通知」(回線ごと非通知))で、電話をかけてくると、こちら側では着信音が鳴らずにお断りのメッセージを流すことができます。(☞5-23～5-24ページ)

公衆電話お断りを設定したときは

相手の方が公衆電話から電話をかけてくると、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます。(☞5-23～5-24ページ)

表示圏外お断りを設定したときは

相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたとき、また、サービスの契約条件等により番号が表示できないとき(国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など)、こちら側では着信音を鳴らさずにお断りメッセージを流すことができます。(☞5-23～5-24ページ)

お断りする番号を登録したときは

あらかじめ特定の番号を登録しておくと、登録した相手の方から電話がかかってきたときに着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。(☞5-26～5-27ページ)

かかってきた電話をその場でお断りしたときは

迷惑電話を受けたときに、その場でお断りメッセージを流して電話を切ることができます(☞5-28～5-29ページ)。さらに着信の種類や相手の番号を判断し、上記のお断り設定を自動的に行います。

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定(☞5-3 ページ)を「しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに短い着信音が5～6回鳴り、このときに電話に出ると切れてしまいます。このあと通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、在宅モード時のコール回数(☞3-19ページ)や、留守モード時のコール回数(☞2-50ページ)を2回以上に設定してください。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。
- 内線通話中に電話がかかってきたときは、着信表示されません。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機(PBX)や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。
- 同じ番号を親機や子機の電話帳に登録すると、ナンバー・ディスプレイの名前表示(親機や子機の電話帳に登録している相手の方からの名前表示)が正常に動作しないことがあります。
- 相手の方が、ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、発信時に相手の方につながるまでの時間が長くなることがあります。
- １本の電話回線に２台以上の電話機などを接続(ブランチ式接続)してご利用の場合は、発信電話番号が正確に表示されないことがあります。

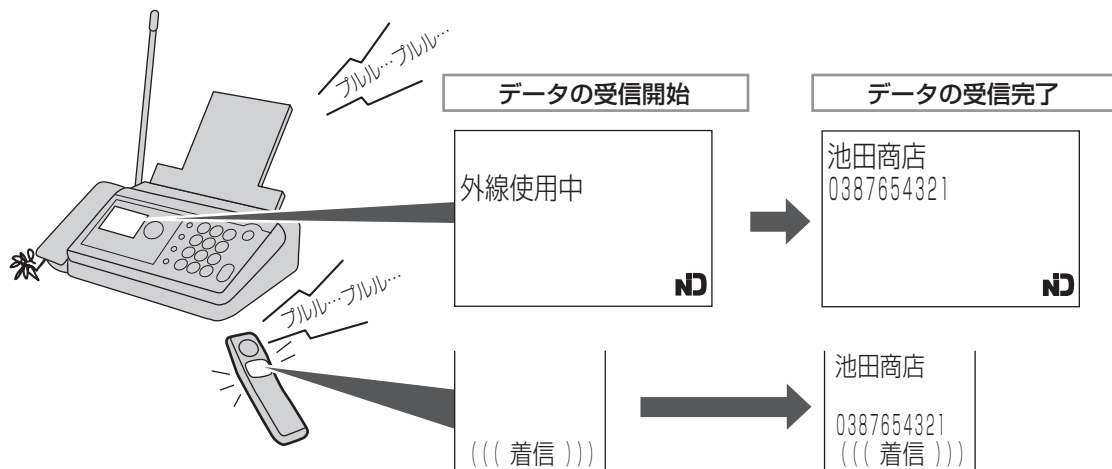
電話がかかってきたときの画面表示について

表　示	着　信　情　報
親機 子機 「0387654321」など （電話番号）	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親機 「池田　悟」など （相手の方の名前） 「池田　悟 0387654321」など 子機 「池田　悟 0387654321」など （相手の方の名前）	親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、名前と電話番号を表示します。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。） **親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
親機 「非通知」 子機 「ー非通知ー」	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親機 「表示圏外」 子機 「ー表示圏外ー」	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときやサービスの契約条件等により、番号が表示できないときに表示します。（国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など）
親機 「公衆電話」 子機 「ー公衆電話ー」	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。
親機 「受信エラー」 子機 「ー受信エラーー」	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。
親機 「外線使用中」 子機 「着信」	着信音が鳴る前に、NTT から相手の電話番号データを受信しています。この表示のときは、電話に出ることもかけることもできません。

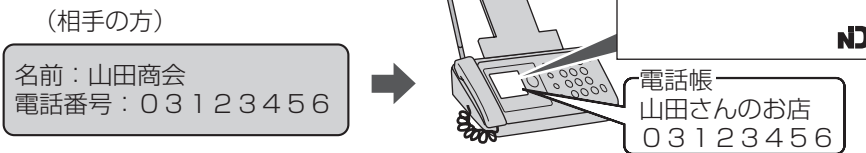
ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイを契約（有料）すると、電話に出る前にかけてきた方の名前や会社名を画面に表示させせることができます。（かけてきた方が番号通知・発信者通知を選択している場合のみ表示されます。）

このサービスをご利用の際は、ネーム・ディスプレイの利用契約のほかにナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。
サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「する」になっていることを確認してください。（☞5-3ページ）

電話がかかってくると…

電話がかかってきたときの画面表示について

ディスプレイ表示		着信情報
親　機	子　機	
池田商店 0387654321	池田商店 0387654321 (((着信)))	電話帳に登録していなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を表示します。

● かかってきた電話番号が電話帳に登録している方と一致したときは、電話帳に登録している名前を表示します。（かけてきた方が発信者名の情報を通知しなくても発信者番号が電話帳に登録している電話番号と一致すると電話帳に登録している名前を表示します。）電話帳に登録していない方のときは、受信した発信者名を表示します。

お知らせ

- **電話をかけてきた方が発信者名を表示する設定（発信者側でネーム・ディスプレイの利用契約が必要です）にしていない場合、名前は表示されません。**ただし、その場合でも、電話番号が電話帳に登録している番号と一致すると、電話帳に登録している名前を表示します。
- 電話帳に登録している内容によって発信者名の表示が異なることがあります。
- ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
- 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- 本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、画面上に「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイ（☞5-8～5-11ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

キャッチホン・ディスプレイを利用する

NTTのキャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができます。

■ **このサービスをご利用の際は、①〜③のサービスへの利用契約が必要です。**

①ナンバー・ディスプレイ（有料）
②キャッチホン・ディスプレイ（有料）
③キャッチホン／キャッチホンⅡ／マジックボックス／ボイスワープ／話中転送サービス

※③についてはいずれかの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

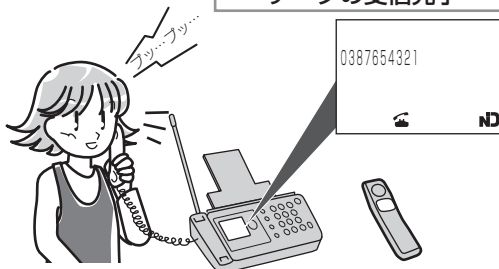
■ **サービスを契約したあとは、2つの設定をする必要があります。**

・必ずキャッチホン・ディスプレイの利用設定を「する」に設定してください。(☞5-9ページ)
また、ナンバー・ディスプレイの利用設定が「する」になっていることを確認してください。(☞5-3ページ)

通話中に電話がかかってくると…

■通話中に電話がかかってくると、相手の方の番号を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の番号を表示して、子機には表示しません。

子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の番号を表示して、親機には表示しません。

■親機や子機の電話帳に登録している相手の方から通話中に電話がかかってきたときは、親機では電話帳に登録している名前と電話番号を表示します。子機では電話帳に登録している名前を表示します。

親機で通話中に受けたときは

親機のみ相手の方の名前と電話番号を表示して、子機には表示しません。

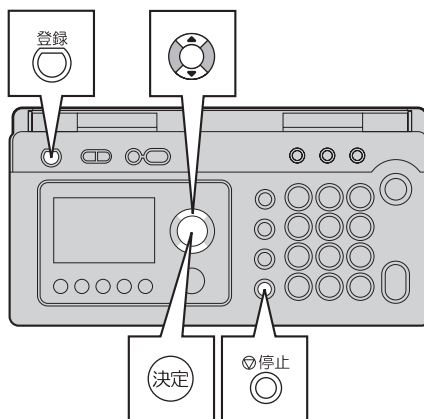
子機で通話中に受けたときは

子機のみ相手の方の名前を表示して、親機には表示しません。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイで電話を受けたときは、通話中にかかってきた電話も着信記録に残ります。(☞5-12〜5-13ページ)
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイに表示されるのは親機では16ケタですが、子機では12ケタまでです。
- 親機・子機の両方で名前を表示するためには、それぞれ両方の電話帳に名前と電話番号を登録してください。

キャッチホン・ディスプレイを利用設定する

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、設定を必ず「する」にしてください。
(はじめは、「しない」に設定されています。)
※ サービスを契約しているのに、「しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 **を押し、** ◎ **で「詳細設定」を選ぶ**

3:コピー設定
4:電話帳
▶5:詳細設定

2 決定 **を押し、** ◎ **で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ**

1:液晶濃度調整
2:FAX/コピー
▶3:ナンバーディスプレイ

3 決定 **を押し、** ◎ **で「キャッチホンディスプレイ」を選ぶ**

1:着信鳴り分け
2:鳴り分け時着信音
▶3:キャッチホンディスプレイ

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

4 決定 **を押し、** ◎ **で「する」を選ぶ**

▶1:する
2:しない

●キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは、「しない」を選び、決定ボタンを押します。

5 決定 **を押す**

する に設定

●「する」に設定されます。

6 停止 **を押す**

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

お知らせ

- 保留中、留守番電話動作中、ファクス送受信中は、電話番号や相手の方の名前などをディスプレイに表示しません。
- キャッチホン・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、次の点に注意ください。
  - ･ファクス送信中／受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、通信エラーになることがあります。
  - ･キャッチホンⅡを利用して、割り込み回数を「0」回に設定すると、割り込みが入らなくなりますので番号表示されません。
  - ･キャッチ/カナボタンを利用した後のみ、「おまかせ受信」機能が働きません。（ファクス受信するときは、スタートボタンを押してください。）
- 通話中にキャッチホン着信が入ると、約１秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。
- ISDN回線のターミナルアダプタのアナログポートや構内交換機（PBX）に接続すると、キャッチホン・ディスプレイが使えない場合があります。
- キャッチホン・ディスプレイの利用設定を「する」に設定しても、すぐにディスプレイにはNDマークは表示されません。設定後一度着信すると、NDマークが表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイを契約後に、「しない」に設定されていると、電話がかかってきたときに、はじめに「ピポッ・ビュッ」という音が鳴ったあとキャッチホンの着信音が鳴ります。
- キャッチホン・ディスプレイで着信したときは、ナンバー・ディスプレイ機能の中の非通知お断り、公衆電話お断り、表示圏外お断り、特定お断り番号などは働きません。（相手の方にメッセージは聞こえません。）
- キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合は、利用設定を「しない」に設定してください。お話し中の声で、キャッチホン・ディスプレイが働いて通話が途切れてしまうことがあります。
- １本の電話回線に２台以上の電話機などを接続（ブランチ式接続）してご利用の場合は、発信電話番号が正常に表示されないことがあります。
- あとからかけてきた方の電話番号などは親機で約20秒間、子機で約30秒間表示されます。
- 通話中の声により通話が途切れる場合があります。
- キャッチホン着信時には、１秒程度の無音状態が発生することがありますが、故障ではありません。また、従来の着信表示音に加えて「ピッ」といった割り込み音が入ります。この割り込み音とお話し中の声が重なりますと電話番号の表示ができないことがあります。

通話中に電話がかかってきたときの画面表示について

表　示	着　信　情　報
親 機　子 機 **「0387654321」など** **（電話番号）**	相手の方が自分の番号を通知して、電話をかけているときは、その番号を表示します。（「通常通知（通話ごと非通知）」のとき、または「186」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親 機 **「池田 悟 0387654321」など** 子 機 **「池田 悟 0387654321」など** **（相手の方の名前）**	親機および子機の電話帳に登録されている相手の方が、番号を通知して電話をかけてきたときは、名前と電話番号を表示します。（親機と子機では電話帳が別なので、それぞれに登録している相手の方の名前を表示します。） **親機や子機の電話帳に電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。**
親 機 **「非通知」** 子 機 **「一非通知一」**	相手の方が自分の番号を通知せずに、電話をかけているときに表示します。（「通常非通知（回線ごと非通知）」のとき、または「184」をつけてダイヤルしているときに表示します。）
親 機 **「表示圏外」** 子 機 **「一表示圏外一」**	相手の方がサービスを行っていない地域から電話をかけてきたときや、サービスの契約条件等により、番号が表示できないとき表示します。 （国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP 電話など）
親 機 **「公衆電話」** 子 機 **「一公衆電話一」**	相手の方が公衆電話から電話をかけているときに表示します。 公衆電話からでも相手の方が「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」になります。
親 機 **「受信エラー」** 子 機 **「一受信エラー一」**	回線の状態などで、相手の方の発信電話番号のデータを正しく受信できなかったときに表示します。

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの割り込み着信表示は、親機（20秒）／子機（30秒）表示して、通話中表示に戻ります。
- 次のようなときは、電話番号を表示しない場合があります。
  ・大きな声で通話しているとき
  ・周囲が騒がしいとき
  ・設置場所からNTTの交換機まで距離が離れすぎているとき

着信記録を表示する

親機で着信記録を表示する

ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ（☞5-2～5-11ページ）を契約（有料）すると、着信記録が最大20件まで記録されます。着信記録の番号や親機や子機の電話帳に登録している名前をディスプレイに表示することができます。20件を超えると古い着信記録から消去されます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 着信記録 を押す

池田 悟
< 6月 1日10:00AM>

●最後にかかってきた相手の方の番号（親機の電話帳に登録しているときは名前）と日付・時刻を表示します。

2 で選ぶ

09087654321
< 6月 1日 9:00AM>

●（上）を押すと１件新しい着信記録を表示します。

●（下）を押すと１件古い着信記録を表示します。

■ **着信記録の表示をやめるときは**

停止 を押します。

■ **着信記録リストをプリントするには**

① 登録 を押し、 で「印刷」を選ぶ

② 決定 を押し、 で「着信記録リスト」を選ぶ

③ 決定 を押す

■ **親機の着信記録を１つだけ消去するときは**

① 着信記録 を押す

② で、消去する着信記録を選んだあと、消去 を押す

③ もう一度、消去 を押す
（表示中の着信記録が一件、消去されます。）

④ 停止 を押す

お知らせ

● 親機の着信記録を一度にすべて消去することはできません。
● 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
● 発信者側で電話を切るタイミングによっては、表示が空白の着信記録が残ってしまうことがあります。
● 着信記録の番号を親機の電話帳に登録することができます。（☞5-18ページ）
● 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。（子機ではナンバー・ディスプレイに契約していないと、着信のあった日付・時刻を表示することはできません。）

子機で着信記録を表示する

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号や子機の電話帳に登録されている名前をディスプレイに表示することができます。
20件を超えると、古い着信記録から消去されます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を2回押す

〈着信記録01〉
上田 ミキオ
0398765432
6月15日 15:49

●最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
●再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

2 で選ぶ

〈着信記録15〉

0323456789
6月10日 15:36

● を押すと1件古い着信記録を表示します。
● を押すと1件新しい着信記録を表示します。
●選んだあと を押すと着信のあった日付・時刻を表示します。

■ **着信記録の表示をやめるときは**

(切) を押します。

■ **子機の着信記録をすべて消すときは**

① (通話) を消灯させた状態で、(機能) を押す
② で「着信記録消去」を選ぶ
③ (機能) を押す
④ もう一度、(機能) を押す

お知らせ

● 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
● 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●「非通知お断り」「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」「お断り番号」を設定している場合も、着信記録が表示されます。
● 着信記録の番号を、子機の電話帳に登録することができます。(☞5-19ページ)
● 子機の着信記録を1件ずつ消すことはできません。

着信記録を使って電話をかける

親機で着信記録を使って電話をかける

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
21件以上着信すると、古い着信記録から自動的に消去されます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

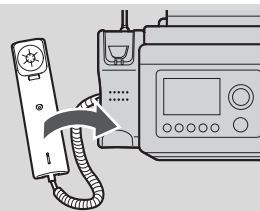
1 着信記録 ◯ **を押す**

2 ◎ **で選んだあと、受話器を取る**

● ◎ を押すと一件古い着信記録が選択されます。
● ◎ を押すと一件新しい着信記録が選択されます。

3 通話が終わったら**受話器を戻す**

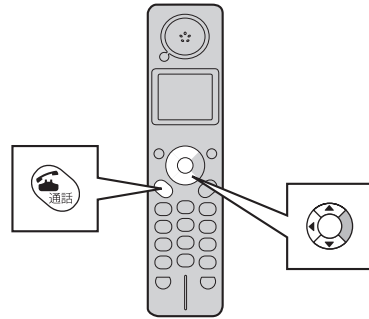
■ **途中でやめるときは**
受話器を戻します。

■ **受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは**
① 受話器を取る
② 着信記録 ◯ を押す
③ ◎ で選んだあと、(決定) を押す
④ 相手の方とお話しする
⑤ 通話が終わったら受話器を戻す

■ **184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは**
左記の①のあとに「184」や「186」などをダイヤルして②〜④の操作を行います。
（「184」や「186」などを親機が発信中のときは、②〜④の操作を行うことができません。少し待ってから②〜④の操作を行ってください。）

お知らせ

● 着信記録を使って電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
（「184」などダイヤルした番号では働きます）

子機で着信記録を使って電話をかける

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示して電話をかけることができます。
21件以上着信すると、古い着信記録から自動的に消去されます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を2回押す

〈着信記録01〉
上田 ミキオ
0398765432
6月15日 15:49

- 最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。
- 再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

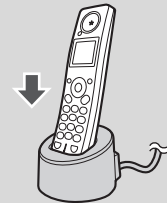
2 で選ぶ

〈着信記録15〉

0323456789
6月10日 15:36

- を押すと1件古い着信記録を表示します。
- を押すと1件新しい着信記録を表示します。

3 を押す

4 通話が終わったら
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **途中でやめるときは**

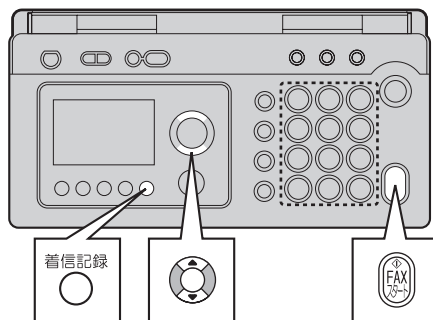
を押します。

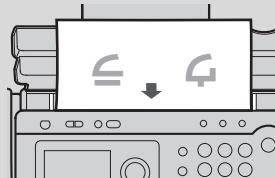
お知らせ

- 親機・子機とも、発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話をかけることはできません。
- 相手の方の番号は親機で20ケタ、子機では16ケタまで記録されています。ただし、ディスプレイには、親機では20ケタ表示しますが、子機では16ケタまでしか表示しません。
- 親機でコピー中・プリント中のときは、子機の使用はできません。

着信記録を使ってファクスを送る

親機で着信記録を使って ファクスを送る

かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 着信記録 **を押す**

池田 悟
< 6月 1日10:00AM>

●最後にかかってきた相手の方の番号を表示します。（親機の電話帳に登録しているときは名前を表示します。）

3 **で選んだあと、** FAX スタート **を押す**

● を押すと１件古い着信記録が選択されます。
● を押すと１件新しい着信記録が選択されます。
●このあと、自動的に送信を始めます。

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

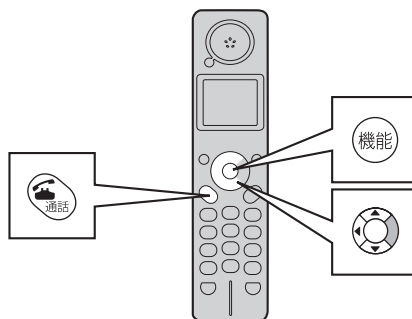
■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞6-22ページ）**

お知らせ

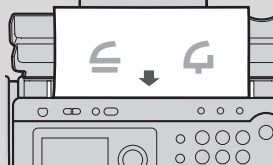
● 着信記録を使ってファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
● 自動送信がうまくいかないときは、「FAX自動送信時の発信音検出」（☞7-7ページ）を「なし」に設定するか、受話器を取って送信してください。

着信記録を使ってファクスを送る

子機で着信記録を使ってファクスを送る

子機でも、かかってきた番号は最大20件まで記録されていますので、その番号を表示してファクスを送ることができます。

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 親機

原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

●送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
●画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 **を2回押す**

〈着信記録01〉
上田 ミキオ
0398765432
6月15日 15:49

●最後にかかってきた番号を表示します。子機の電話帳に登録している番号のときは、名前を表示します。

3

〈着信記録15〉

0323456789
6月10日 15:36

●（▼）を押すと１件古い着信記録を表示します。
●（▲）を押すと１件新しい着信記録を表示します。

4 （通話） **を押す**

●通話ボタンが点灯します。

5 子機

相手の方が出たら
ファクスを送ること
を伝えて
（機能） **を押す**

●相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら、機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）

6

充電器に戻す

■ **途中でやめるときは**

（切） を押します。

■ **おまかせ送信について（☞3-8ページ）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞6-22ページ）**

お知らせ

● 自動送信がうまくいかないときは、「FAX自動送信時の発信音検出」（☞7-7ページ）を「なし」に設定してください。

着信記録を電話帳に登録する

着信記録を親機の電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を親機の電話帳に登録することができます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 着信記録 ◯ **を押す**

```
09087654321
< 6月10日 9:00AM>
```

2 ◯ **で登録する番号を選ぶ**

- ◯ を押すと１件古い着信記録が選択されます。
- ◯ を押すと１件新しい着信記録が選択されます。

3 登録 ◯ **を押す**

```
名前？        [漢]
█
```

4 **名前を入れる（最大全角10文字／半角20文字）**

```
名前？        [漢]
三浦 さおり█
```

■ 途中でやめるときは

停止 ◯ を押します。

■ 文字を入力するときは（☞2-29〜2-32ページ）

5 決定 **を押す**

```
読み？     半 [カナ]
ミウラ サオリ█
```

- 「読み」に変更があれば修正します。

6 「読み」が正しければ

決定 **を押す**

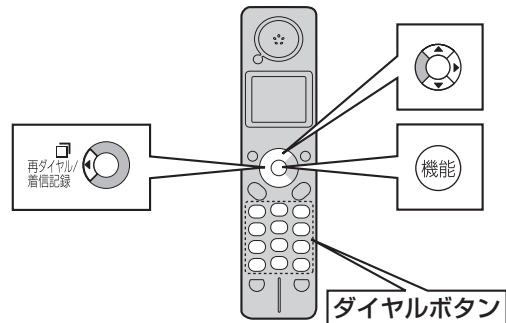
- 着信記録の番号が第1番号として登録されます。

■ 親機の電話帳の内容を１件ずつ消すときは

（☞2-28ページ）

着信記録を子機の電話帳に登録する

着信記録の中の電話番号を子機の電話帳に登録することができます。

操作のしかた 通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 再ダイヤル/着信記録 を2回押し、着信記録を表示する

〈着信記録01〉
上田 ミキオ
0398765432
6月15日 15:49

●一番新しい着信記録が表示されます。

2 で登録したい着信記録を選ぶ

〈着信記録15〉

0323456789
6月10日 15:36

3 機能 を押し、で「電話帳へ登録」を選ぶ

特番ﾀﾞｲﾔﾙ
電話帳へ登録
消去
戻る　選択

4 を押す

5 名前を入力する（最大全角10文字／半角20文字）

名前　[漢]
矢部 弘
[機能] 決定

●名前の入力を省略するときは、この手順をとばして手順6に進んでください。

6 機能 を押す

7 名前の「読み」を確認する（最大20文字）

読み　半 [ｶﾅ]
ﾔﾍﾞ ﾋﾛｼ
[機能] 決定

●「読み」に変更があれば修正します。

8 機能 を押し、第1番号に登録する

矢部 弘
0323456789
[機能] 決定

●第1番号として登録されます。

9 機能 を押し、第2番号の入力画面にする

矢部 弘
第2番号?
[機能] 決定

10 第2番号を市外局番から入力する（最大24ケタ）

矢部 弘
09014012345
[機能] 決定

●第2番号の入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順11に進んでください。

11 機能 を押す

矢部 弘
登録しました
残り: 75

●「ピー」と鳴って、残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
切 を押します。

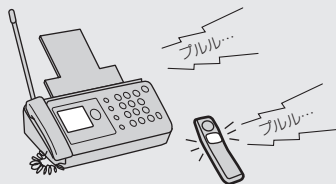
■ **子機の電話帳の内容を消すときは**
（☞2-37ページ）

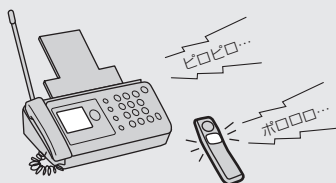
■ **文字を入力するときは****（☞2-38～2-41ページ）**

お知らせ

● 親機・子機とも、発信電話番号情報がない場合や、受信エラーなどのときは、電話帳に登録することはできません。
● 登録中に電話がかかってくると、登録は中止されます。はじめからやり直してください。

着信鳴り分けを利用する

NTTのナンバー・ディスプレイを契約（有料）すると、電話がかかってきたときに、親機では、「親機の電話帳に登録されている相手の方」からの着信に合わせて着信音を変えることができます。子機では、「子機の電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」からの着信に合わせて着信音を変えることができます。はじめは、親機は「なし」、子機は「解除」に設定されています。

着信鳴り分けを設定していない相手の方のとき

親機では、1-26ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、1-28ページで設定した着信音が鳴ります。

着信鳴り分けを設定した相手の方のとき

親機では、親機の電話帳に登録されている方のみ5-21ページで設定した着信音が鳴ります。
子機では、着信の種類に合わせて5-22ページで設定した着信音が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、(上下) で「詳細設定」を選ぶ

3:コピー設定
4:電話帳
▶5:詳細設定

2 決定 を押し、(上下) で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

1:液晶濃度調整
2:FAX/コピー
▶3:ナンバーディスプレイ

3 決定 を押し、「着信鳴り分け」を選ぶ

▶1:着信鳴り分け
2:鳴り分け時着信音
3:キャッチホンディスプレイ

4 決定 を押し、(上下) で「あり」を選ぶ

▶1:あり
2:なし

● 「なし」を選び決定ボタンを押すと「親機の着信鳴り分け」を解除します。

5 決定 を押す

あり に設定

● 「あり」に設定されます。

6 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
消去 を押します。

お知らせ

● かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ

着信鳴り分け時の着信音を選びます。

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 **を押し、**
（十字キー）で「詳細設定」を選ぶ

```
 3:コピー設定
 4:電話帳
▶5:詳細設定
```

2 （決定） **を押し、「ナンバーディスプレイ」を選ぶ**

```
 1:液晶濃度調整
 2:FAX/コピー
▶3:ナンバーディスプレイ
```

3 **を押し、（十字キー）で「鳴り分け時着信音」を選ぶ**

```
 1:着信鳴り分け
▶2:鳴り分け時着信音
 3:キャッチホンディスプレイ
```

4 （決定） **を押し、（十字キー）で着信音を選ぶ**

```
 01:電話ベル音
 02:鳥の声
▶03:電子音
```

●鳴り分け用として設定できる着信音については、「親機着信音一覧」（☞1-26ページ）をご覧ください。

5 （決定） **を押す**

```
電子音
に設定しました
```

6 （停止） **を押す**

■ **途中でやめるときは**

（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

（消去）を押します。

子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

子機では、「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の４項目ごとに着信音を変えることができます。

操作のしかた　通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押し、**（十字キー）**で「着信鳴り分け」を選ぶ**

着信音量
着信音色
▶着信鳴り分け
◀終了　選択▶

2 （右キー）**を押し、**（十字キー）**で鳴り分けをしたい項目を選ぶ**

▶電話帳
非通知
公衆電話
◀戻る　選択▶

● 「電話帳」「非通知」「公衆電話」「表示圏外」の４項目から選べます。

3 （右キー）**を押す**

電話帳
⇕：音色選択

［機能］決定

● すでに設定している場合は、設定している着信音が鳴ります。

■ 途中でやめるときは

（切）を押します。

■ 子機の着信鳴り分けを解除するときは

操作のしかた　手順４で、「ピピッ」と鳴るまで（十字キー）を押して、（機能）を押します。

4 （十字キー）**で着信音を選ぶ**

● 選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。曲名は表示されません。

01	「プルルルプルルル」
02	「ポロロロポロロロ」
03	「ピロンピロン」
04	「ショートメロディ①」
05	「ショートメロディ②」
06	「眠りの森の美女」
07	「春の歌」
08	「トルコ行進曲」
09	「森のくまさん」
10	「インベンション」

5 （機能）**を押す**

● 「ピー」と鳴って着信鳴り分けが設定され、待受画面に戻ります。

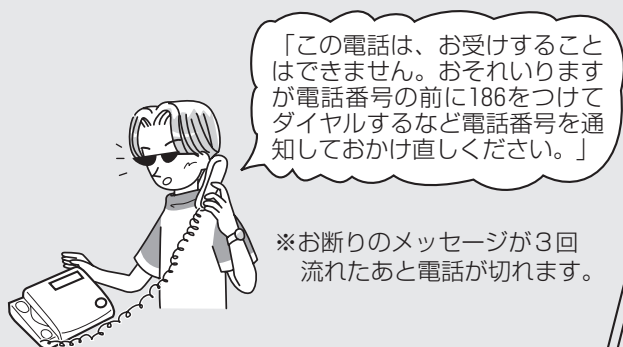
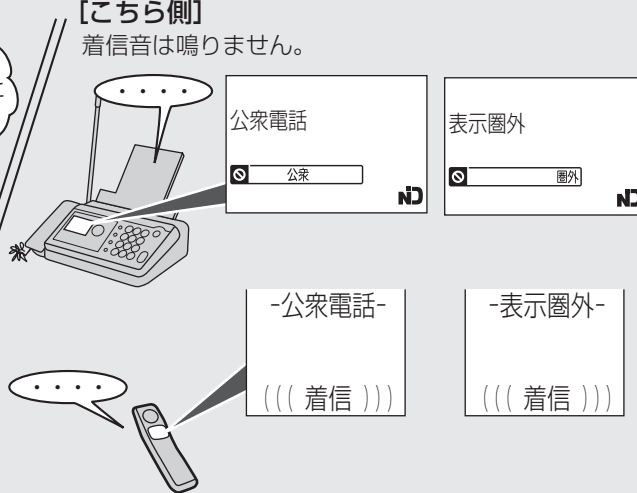
お知らせ

● かかってくる相手の方ごとに鳴り分けを設定することはできません。

着信の種類に合わせてお断りのメッセージを流す

電話がかかってきたときに、「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」など着信の種類に合わせて、お断りのメッセージを流すことができます。こちら側では着信音は鳴りません。
お買いあげ時は「使用しない」に設定されています。

お断りに設定すると

「非通知お断り」のとき

「公衆電話お断り」「表示圏外お断り」のとき

お知らせ

● お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。

非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、で「詳細設定」を選ぶ

3:コピー設定
4:電話帳
▶5:詳細設定

2 決定 を押し、で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

1:液晶濃度調整
2:FAX/コピー
▶3:ナンバーディスプレイ

非通知お断りを設定するとき

3 決定 を押し、で「非通知お断り」を選ぶ

▶4:非通知お断り
5:公衆お断り
6:圏外お断り

公衆電話お断りを設定するとき

3 決定 を押し、で「公衆お断り」を選ぶ

4:非通知お断り
▶5:公衆お断り
6:圏外お断り

表示圏外お断りを設定するとき

3 決定 を押し、で「圏外お断り」を選ぶ

4:非通知お断り
5:公衆お断り
▶6:圏外お断り

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

4 決定 を押し、で「お断り」を選ぶ

1:なし
▶2:お断り
3:夜間のみ

- **「なし」:**
  お断りを使用しません。
- **「お断り」:**
  お断りメッセージを流して、電話を切ります。
- **「夜間のみ」:**
  設定した時間帯のみ、「お断り」の動作をします。(はじめは22:00～06:00に設定されています。設定のしかたは、5-25ページをご覧ください。)

5 決定 を押す

非通知お断りを設定したときの場合

お断り に設定

非通知

6 停止 を押す

- 「お断り」にしたときは相手の方には着信音が2回鳴ったあと、メッセージが3回流れて電話が切れます。

お知らせ

- 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、着信音はこちら側では鳴りません。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたときは、相手の方に着信音が鳴ります。プリントが終わったあと、相手の方にお断りのメッセージが流れます。
- 非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。

■ **非通知・公衆電話・表示圏外お断りを特定の時間帯のみお使いになるときは**

下記の操作で、お断りをご利用になる時間帯を設定します。設定後は、「非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する」（☞5-24ページ）の操作で、お断りの設定を「夜間のみ」にしてください。

① 登録 を押し、◇ で「詳細設定」を選ぶ

② 決定 を押し、◇ で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

③ 決定 を押し、◇ で「夜間時間設定」を選ぶ

④ 決定 を押し、ダイヤルボタンで、お断りの開始時間を2ケタ入力する（24時間制）

お断り開始･解除時間は1時間単位の設定になります。

⑤ ダイヤルボタンで､お断りの解除時間を2ケタ入力する

⑥ 決定 を押す

お断りを使用する時間帯が設定されます。

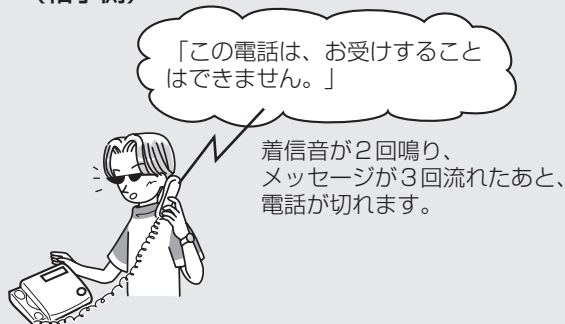
⑦ 停止 を押す

お知らせ

● 親機の日付・時刻の設定（☞1-16、1-17ページ）が正しく合っていないと、「夜間のみ」のお断りは正しく動作しません。

特定の番号からの電話にお断りのメッセージを流す

登録したお断り番号の相手の方から電話がかかってきたとき、お断りのメッセージを流すことができます。

お断りする番号を登録したときは

お断りしたい番号を登録する

操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 登録 を押し、⊙ で「詳細設定」を選ぶ

```
 3:ｺﾋﾟｰ設定
 4:電話帳
▶5:詳細設定
```

2 決定 を押し、⊙ で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ

```
 1:液晶濃度調整
 2:FAX/ｺﾋﾟｰ
▶3:ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
```

3 決定 を押し、⊙ で「お断り番号」を選ぶ

```
 5:公衆お断り
 6:圏外お断り
▶7:お断り番号
```

4 決定 を押し、⊙ で「登録」を選ぶ

```
▶1:登録
 2:消去
```

5 決定 を押し、登録番号（2ケタ）を入れる（00〜29）

```
お断り　NO.=
00-29 を 入力
```

- 番号を入れまちがえたときは、消去ボタンを押して手順４からやり直します。

6 電話番号を入れる（最大20ケタ）

```
NO.=0312345678
最後に決定を押します
```

- 電話番号を登録するときは、同じ市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。市外局番を登録しないと通常の着信となり、着信音が鳴ります。
- 番号を入れまちがえたときは、消去ボタンを押して、もう一度入れ直します。

7 決定 を押す

```
登録しました
特定
```

- 手順５の登録番号入力から、手順７までをくり返して、最大30件までの番号を登録できます。

8 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**

消去 を押します。

■ **登録したお断り番号を1件ずつ消すときは**

① 登録 を押す

② ◎ で「詳細設定」を選び、決定 を押す

③「ナンバーディスプレイ」を選び、決定 を押す

④ ◎ で「お断り番号」を選び、決定 を押す

⑤ ◎ で「消去」を選び、決定 を押す

⑥ 消去する登録番号（00〜29）を入れる

⑦ 決定 を押す
（続けて他の登録番号を消すときは、⑥〜⑦をくり返す）

⑧ 停止 を押す

■ **登録したお断り番号をプリントして確かめる**

記録紙がセットされていることを確認する

① 登録 を押す

② ◎ で「印刷」を選び、決定 を押す

③ ◎ で「お断り番号リスト」を選ぶ

④ 決定 を押す
（特定番号のリストが印刷されます。）

お知らせ

- お断りする番号を登録したときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください。
- お断り番号の登録（最大30件）ごとに別々の受けかたを設定することはできません。
- お断り番号を登録しても、ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、お断りのメッセージは流れません。
- お断りする番号からの着信があった場合の着信音の回数は2回です。変更することはできません。

迷惑電話にお断りメッセージを流す

いたずら電話や無言電話などの迷惑電話を受けたとき、通話中にお断りメッセージを流して電話を切り、自動的にその番号をお断り番号に登録して、以降の同じ番号からの着信をお断りします。
また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信だったときは、設定した一定時間だけ、同じ種別の着信をお断りします。（迷惑電話拒否機能）

親機で設定する

操作のしかた

1 お断りしたい相手先との通話中に

 を押す

2 相手先に お断りメッセージが流れ、自動的に電話が切れる

●お断りメッセージが流れている間に受話器を取る（受話器を取っているときは一度戻してから取る）と、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。
このときは、お断りの自動設定はされません。

■ **自動的にお断りする時間を変更するときは**

お断りが解除されるまでの時間を変更することができます。はじめは２時間に設定されています。

① 登録 を押し、 で「詳細設定」を選ぶ
② 決定 を押し、 で「ナンバーディスプレイ」を選ぶ
③ 決定 を押し、 で「お断り時間」を選ぶ
④ 決定 を押し、 で「なし」「２時間」「６時間」のいずれかを選ぶ
「なし」に設定すると、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ったあと、お断りには設定されません。ただし、相手先の番号が通知されていたときは、特定番号お断りに設定されます。
⑤ 決定 を押す
⑥ 停止 を押す

3 自動的にお断りが設定される

●相手先の番号が通知されていたときは、その番号がお断り番号（☞5-26ページ）として登録されます。
●非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、対応したお断り（☞5-24ページ）が一定時間だけ設定されます。

■ **まちがえて迷惑電話／見張りボタンを押してしまったときは**

お断りメッセージが流れている間に受話器を取る（受話器を取っているときは一度戻してから取る）と、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。
このときは、お断りの自動設定はされません。

■ **まちがえて相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは**

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞5-27ページ）。
また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストを印刷（☞5-27ページ）して確認してください。

■ **まちがえて非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは**

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を「なし」に設定し直してください（☞5-24ページ）。

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイに契約していない場合でも、通話中に迷惑電話／見張りボタンを押すと、お断りメッセージが流れて電話が切れますが、自動的にお断りを設定することはできません。

子機で設定する

操作のしかた

1 お断りしたい相手先との通話中に
内線/クリア 保留 **を押す**

●通話が保留状態になります。

2 機能 **を押す**

**3 相手先に
お断りメッセージが流れ、
自動的に電話が切れる**

●お断りメッセージが流れている間に子機を充電器から取って通話ボタンを押すと、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。
このときは、お断りの自動設定はされません。

**4 自動的にお断りが
設定される**

●相手先の番号が通知されていたときは、その番号がお断り番号（☞5-26ページ）として登録されます。

●非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、対応したお断り（☞5-24ページ）が設定されます。

■ まちがえてお断りの操作をしてしまったときは
お断りメッセージが流れている間に充電器から取って通話ボタンを押すと、お断りメッセージが中断され、相手先と通話できます。
このときは、お断りの自動設定はされません。